

茨城県図書館協会調査研究委員会報告書Ⅶ

図書館におけるボランティアの実態に関する調査報告

2020年3月

茨城県図書館協会調査研究委員会

茨城県図書館協会調査研究委員会報告書Ⅶ

図書館におけるボランティアの実態に関する調査報告

2020年3月発行

発行 茨城県図書館協会

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38

茨城県図書館協会事務局（茨城県立図書館内）

TEL 029-228-3622 FAX 029-228-3583

E-mail ila@lib.pref.ibaraki.jp

URL <https://www.lib.pref.ibaraki.jp/home/ila/>

目 次

1. 調査の概要	
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査項目	1
2. 調査の結果と分析	
(1) 施設の種類	2
(2) 管理運営状況	2
(3) ボランティア活動の有無	3
(4) ボランティア登録制度の有無	4
(5) ボランティア登録人数	6
(6) ボランティア登録団体数	7
(7) ボランティアの任期	8
(8) 図書館がボランティアに活動をしてもらっている目的	10
(9) ボランティアの募集時期	11
(10) ボランティアの募集方法	12
(11) 図書館によるボランティア活動のPRの方法	13
(12) ボランティアの属性	14
(13) ボランティアの主な年齢層	15
(14) ボランティア活動の頻度	18
(15) ボランティア活動の内容と企画	20
(16) ボランティアに対する図書館主催の研修の有無	32
(17) ボランティアに対する図書館主催の研修の時期	32
(18) ボランティアに対する図書館主催の研修の学習内容	33
(19) ボランティアの自主的な活動	34
(20) ボランティアに対する経済的支援の有無	35

(21) ボランティアに対する経済的支援の内容	35
(22) ボランティアに対する保険の内容	36
(23) ボランティアコーディネイターの配置の有無	37
(24) ボランティアコーディネイターの属性	37
(25) ボランティア活動において解決した課題	38
(26) ボランティア活動における現在抱えている課題	39
(27) ボランティア活動が行われていない理由	40
(28) ボランティア活動を今後行う予定	41

3. 実践事例

(1) 児童サービスボランティア	【茨城県立図書館】	43
(2) ボランティアとの共同イベント・行事	【日立市立南部図書館】	45
(3) 学生ボランティアの取り組みについて	【土浦市立図書館】	47
(4) 音訳ボランティアの取り組み	【笠間市立笠間図書館】	49
(5) 潮来図書館ボランティア友の会の取り組み	【潮来市立図書館】	51
(6) 小さな子どもたちや子育て世代へのサポート ～赤ちゃんボランティアの取り組み～	【神栖中央図書館】	53
(7) 筑波大学附属図書館ボランティアの取り組み	【筑波大学附属図書館】	54
(8) 当館資料作成に係るボランティア育成及び協力関係構築の取り組み	【茨城県立点字図書館】	55

4. 資料

・ アンケート調査票	58
・ 関連資料	66
・ 茨城県図書館協会調査研究委員会設置要綱	67
・ アンケート調査協力館一覧	68

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）」において、「ボランティア活動等の促進」は図書館サービスのひとつとして位置づけられ、「市町村立図書館は、図書館におけるボランティア活動が、住民等が学習の成果を活用する場であるとともに、図書館サービスの充実にも資するものであることにかんがみ、読み聞かせ、代読サービス等の多様なボランティア活動等の機会や場所を提供するよう努めるものとする」とされている。だが、それぞれの地域によっては、ボランティアの高齢化や構成員の固定化、研修等の課題を抱え、運営が困難になる場合がある。

以上のことから、茨城県図書館協会会員の大学図書館、県内の公共図書館並びに公民館等における、図書館ボランティアの取り組み状況を把握し、情報を共有することで、課題の解決や今後の活動の策定に寄与するために調査を行うこととした。

(2) 調査研究の方法

平成31年4月に茨城県図書館協会会員館にアンケート用紙を配布し、平成31年4月1日現在の状況について調査を実施した。その結果、すべての会員館から回答を得た。

なお、市町村立図書館については、奉仕人口によって「10万人以上」「10万人未満」に分けて分析した。また、県立図書館および大学図書館、「その他の機関」については、館種としての事例数が少ないため集計及び分析に含めず、常陽史料館史料ライブラリー、茨城県教育図書館・情報センター、笠間稲荷図書館は種別が特別であり、調査自体の対象外とした。

(3) 調査項目

調査項目については、2011年に国立教育政策研究所の社会教育実践研究センターが発行した『図書館におけるボランティアの実態に関する調査報告書』を参考に作成した。

2 調査の結果と分析

(1) 施設の種類の種類

問1. 施設の種類の種類において該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。

	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
回答館	1	100.0	8	29	37	100.0	8	88.9	11	91.7
未回答	0	0.0	0	0	0	0.0	1	11.1	1	8.3

(2) 管理運営状況

問2. 管理運営状況として、該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。

	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
直営	1	100.0	7	26	33	89.2	6	66.7	11	84.6
指定管理	0	0.0	1	3	4	10.8	2	22.2	0	0.0
未回答	0	0.0	0	0	0	0.0	1	11.1	1	8.3

《分析》

- ・人口規模による図書館の管理運営状況に差異は見受けられなかった。
- ・公民館図書室は、図書館を持つ市町村の公民館図書室だけが指定管理となっている。

(3) ボランティア活動の有無

問3. 貴図書館では、ボランティア活動が行われていますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。

	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
ある	1	100.0	8	28	36	97.3	3	33.3	2	16.7
ない	0	0.0	0	1	1	2.7	3	33.3	9	75.0
未回答	0	0.0	0	0	0	0.0	3	33.3	1	8.3

《分析》

・ボランティア活動は、市町村図書館では9割を超える館でおこなわれているが、公民館図書室では回答館のうちの半分、大学図書館においては回答館のうちの2割以下にとどまっている。

(4) ボランティア登録制度の有無

問4. 貴図書館では、ボランティア登録制度がありますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。

	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=3 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=2 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=36 (%)				
個人登録制度	1	100.0	3	8	11	30.6	1	33.3	2	100.0
団体登録制度	0	0.0	1	1	2	5.6	0	0.0	0	0.0
個人と団体登録制度の両方	0	0.0	4	14	18	50.0	0	0.0	0	0.0
登録制度なし	0	0.0	0	5	5	13.9	1	33.3	0	0.0
未回答	0	0.0	0	0	0	0.0	1	33.3	0	0.0

○登録制度の有無

	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=3 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=2 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=36 (%)				
ある	1	100.0	8	23	31	86.0	1	33.3	2	100.0
ない	0	0.0	0	5	5	13.9	1	33.3	0	0.0
未回答	0	0.0	0	0	0	0.0	1	33.3	0	0.0

○個人登録と団体登録の割合（※両方の登録を行っている館数を，個人登録と団体登録に足し上げた割合）

	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=3 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=2 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=36 (%)				
個人登録制度	1	100.0	7	22	29	53.7	1	33.3	2	100.0
団体登録制度	0	0.0	5	15	20	37.0	0	0.0	0	0.0
登録制度なし	0	0.0	0	5	5	9.3	1	33.3	0	0.0
未回答	0	0.0	0	0	0	0.0	1	33.3	0	0.0

※同一市町村内に数館あって回答が異なる場合は，両方を含む形で計上。

※未回答は問3で実施していると回答した数に対しての未回答

《分析》

・ボランティア活動がある館においては，登録制度があるところが多い。

全体的には個人登録のみの館が多いが，市町村立図書館においては個人登録と団体登録の両方をおこなっている館の方が個人登録のみを上まわる。

(5) ボランティアの登録人数

問5. 貴図書館の4/1付けボランティア登録人数は何名ですか。回答欄に数字を記入してください。

※問4において「個人」「個人及び団体」と回答した市町村／館について分析

※「個人及び団体」と回答した場合、団体に登録する人数を計上しているところもあると考えられるが、純粋に足しあげている。

	県立図書館	市町村立図書館			公民館	大学図書館
		10万人以上	10万人未満	合計		
回答館数 (館)	1	7	22	29	1	2
未回答館数 (館)	0	0	0	0	0	0
合計人数 (人)	126	782	995	1,777	15	47
平均登録人数 (人)	126	111.7	45.2	61.3	15	23.5

《分析》

- ・人口規模が大きいほど登録者が多い傾向にある。

(6) ボランティアの登録団体数

問6. 登録団体数は、いくつありますか。回答欄に数字を記入してください。

※問4において「個人及び団体」「団体」と回答した市町村／館について分析した。

		回答館数	登録団体数		
			0～5	6～10	11～15
県立図書館（館）		1	0	1	0
市町村立図書館	10万人以上（館）	4	2	2	0
	10万人未満（館）	19	13	3	3
公民館（館）		0	0	0	0
大学図書館（館）		0	0	0	0

《分析》

- ・団体の登録を行っているのは、県立図書館と市町村立図書館と点字図書館である。
- ・市町村立図書館（10万人以上）4市町村立図書館のうち「団体のみ」が1館。

(7) ボランティアの任期

問7. ボランティアの任期は、どのくらいですか。あてはまる選択肢の回答欄に○を記入してください。

※登録制度がある図書館について分析

		県立図書館 (館)	市町村立図書館			公民館 (館)	大学図書館 (館)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)		
個人	1年	1	1	2	3	0	2
	2年	0	0	1	1	0	0
	3年	0	0	1	1	0	0
	任期なし	0	2	4	6	1	0
	その他	0	0	0	0	0	0
団体	1年	0	0	1	1	0	0
	2年	0	0	0	0	0	0
	3年	0	0	0	0	0	0
	任期なし	0	1	0	1	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
個人及び団体	1年	0	2	3	5	0	0
	2年	0	0	0	0	0	0
	3年	0	0	1	1	0	0
	任期なし	0	2	8	10	0	0
	その他	0	0	2	2	0	0
合計館数		1	8	23	31	1	2

○任期ごとの割合

	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=1 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=2 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=31 (%)				
1年	1	100.0	3	6	9	29.0	0	0.0	2	100.0
2年	0	0.0	0	1	1	3.2	0	0.0	0	0.0
3年	0	0.0	0	2	2	6.5	0	0.0	0	0.0
任期なし	0	0.0	5	12	17	54.8	1	100.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	2	2	6.5	0	0.0	0	0.0

(その他回答)

ゆうき図書館	個人・団体	個人登録は1年だが、団体は設けていない。
守谷中央図書館	個人・団体	団体には任期が無いが、ブックススタートボランティアは、年度ごとに募集をしている。

《分析》

- ・全体で見ると任期なしが半数を超えるが、館種別で見ると大学及びその他の機関では1年の任期が一番多い。
- ・その他の回答からわかるように、団体には任期を設けていないが、個人には1年の任期としているところもある。

(8) 図書館がボランティアに活動してもらっている目的

問8. 図書館がボランティアに活動をしてもらっている目的は何ですか。該当する回答欄に○を記入してください。

目的	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 自己実現・生きがいにつながる学習の場を提供するため		1	100.0	5	20	25	67.6	0	0.0	1	8.3
2. 地域の司書有資格者の活用になるため		0	0.0	0	2	2	5.4	0	0.0	0	0.0
3. 人的補完のため		1	100.0	5	15	20	54.1	1	11.1	1	8.3
4. 図書館活動に関する専門的な知識や技能を習得し広く活用してもらうため		1	100.0	2	8	10	27.0	0	0.0	1	8.3
5. 地域の人々の交流を促すため		1	100.0	6	12	18	48.6	1	11.1	0	0.0
6. 利用者にとって充実したサービスを提供するため		1	100.0	7	23	30	81.1	1	11.1	0	0.0
7. ボランティアの意見を取り入れることで図書館運営を活性化させるため		1	100.0	6	10	16	43.2	0	0.0	1	8.3
8. 地域の人々から要望があったため		0	0.0	2	1	3	8.1	0	0.0	0	0.0
9. 地域の施設としてより利用者の立場に立った運営を目指すため		1	100.0	3	4	7	18.9	0	0.0	0	0.0
10. 地域の人々に図書館をよく知ってもらうため		1	100.0	4	10	14	37.8	0	0.0	0	0.0
11. 地域に支えられているという雰囲気を醸成するため		1	100.0	4	4	8	21.6	1	11.1	0	0.0
12. 地域との連携を推進するため		1	100.0	6	14	20	54.1	2	22.2	1	8.3
13. 近隣の図書館でボランティア活動が行われていたため		0	0.0	0	2	2	5.4	0	0.0	0	0.0
14. その他		0	0.0	1	0	1	2.7	1	11.1	0	0.0

【14. その他の具体的な回答】

- ・子どもへの読書活動推進の一環（ひたちなか市立中央図書館）
- ・村内小学校への移動図書館の人的補完を機に現在も選書会等で活動されている。（美浦村中央公民館）

《分析》

図書館がボランティア活動をしてもらっている目的として多かったのは、「利用者にとって充実したサービスを提供するため」33館、「自己実現・生きがいにつながる学習の場を提供するため」28館、「人的補完のため」24館、「地域との連携を推進するため」24館である。

市町村立図書館を見ると、10万人以上7館、10万人未満23館で、「利用者にとって充実したサービスを提供するため」を目的として回答している。

(9) ボランティアの募集時期

問9. ボランティアの募集方法について、どのような時期に募集していますか。

目的	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 年に1回, 定期的に募集している。		0	0.0	3	3	6	16.2	1	11.1	2	16.7
2. 年に2回以上, 定期的に募集している。		0	0.0	1	1	2	5.4	1	11.1	0	0.0
3. 欠員が生じたときに, 実施している。		0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
4. 特に募集はしていないが, 本人からの申し出や他のボランティアからの推薦があったときに検討している。		1	100.0	4	10	14	37.8	1	11.1	1	8.3

【5. その他の具体的な回答】

- ・随時募集（主に申し出）
- ・本人からの申し出や他のボランティアからの推薦以外に、読み聞かせボランティアの勉強会を行うときに紹介している。
- ・ボランティアの募集については、種類や人員確保の必要性に応じて募集。団体の場合は団体に任せている。
- ・広報紙やチラシなどで随時募集している。
- ・2年に1回、定期的に行っている。
- ・随時必要に応じて募集。
- ・ボランティアの種類で異なり、年に1度募集する場合と特に募集したい場合がある。
- ・通年で募集。申し出があれば随時登録。
- ・ブックスタートボランティアのみ年1回、団体は通年可
- ・ボランティアの募集を掲示し随時受付している。
- ・年間を通してHP及びポスター等を掲示するとともに年1回、市の広報紙にて情報提供し募集をしている。
- ・図書館ボランティアは随時募集。ブックスタートボランティアは欠員が生じた時に募集。

《分析》

ボランティアの募集は、定期的に行っている図書館より随時募集または、各種ボランティアの必要に応じて募集している図書館が多い。10万人未満の市町村立図書館では、本人の申し出や推薦といった回答が比較的多かった。

(10) ボランティアの募集方法

問10. ボランティアの募集方法に関する広報をどのように募集していますか。

目的	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 図書館ホームページで募集している。		1	100.0	4	16	20	54.1	1	11.1	1	8.3
2. 図書館の広報紙で募集している。		0	0.0	3	10	13	35.1	1	11.1	0	0.0
3. 図書館内ポスター・チラシを掲示して募集している。		0	0.0	5	19	24	64.9	0	0.0	1	8.3
4. 新聞やTVで募集している。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 地方公共団体の広報紙に情報提供して募集している。		0	0.0	3	14	17	45.9	0	0.0	0	0.0
6. 民間のメディアに情報提供して募集している。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	1	8.3
7. イベント開催時に募集している。		0	0.0	2	2	4	10.8	0	0.0	0	0.0

【8. その他の具体的な回答】

- ・特に募集していない。
- ・以前募集のポスターを図書館に掲示したが、現在は行っていない。
- ・年1回のボランティア養成講座の際に広報
- ・関係各所への直接案内
- ・お話しボランティア養成講座を行った場合には、新規団体の設立を促すが、既存の団体への紹介も行っている
- ・特に募集のPRはしていない。
- ・現在は特に募集していない。
- ・近隣図書館、公民館等に募集ポスターの掲示依頼

《分析》

募集方法については、図書館のHP、広報紙、ポスター、チラシ等で募集または各自治体の広報紙へ情報提供をして募集をしている図書館が多い。また、その他の回答としてボランティア養成講座を行い、募集している図書館もあった。

(11) 図書館によるボランティア活動のPRの方法

問11. 図書館ではボランティアの活動内容を各メディアに対して情報提供していますか。

目的	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 図書館ホームページで情報提供している		1	100.0	6	16	22	59.4	1	11.1	1	8.3
2. 図書館の広報紙で情報提供している。		1	100.0	2	12	14	37.8	1	11.1	0	0.0
3. 図書館内にポスター・チラシを掲示している。		1	100.0	5	12	17	45.9	1	11.1	0	0.0
4. 新聞やTVで情報提供している。		0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
5. 地方公共団体の広報紙に情報提供している。		0	0.0	3	9	12	32.4	0	0.0	0	0.0
6. 民間メディアに情報提供している。		0	0.0	0	2	2	5.4	0	0.0	0	0.0
7. イベントを開催して情報提供している。		0	0.0	3	4	7	18.9	0	0.0	0	0.0

【8. その他の具体的な回答】

- ・ボランティアの参加するイベントの取材があった。
- ・学生の所属大学のHPへ情報提供
- ・図書館要覧に掲載
- ・特に活動内容は情報提供していない。
- ・総体としての実績数値を自施設の「業務の概要」に記載

《分析》

各図書館ともボランティアの活動については、独自の広報だけでなく各種情報媒体を利用してPRしている。また、イベント開催時などを有効的に活用してPRしている図書館もある。

(12) ボランティアの属性

問12. ボランティア登録（活動）している方を分類するとどこにあてはまりますか。

目的	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 高校生		1	100.0	2	4	6	16.2	0	0.0	0	0.0
2. 大学生		1	100.0	2	1	3	8.1	0	0.0	1	8.3
3. 勤労者		1	100.0	6	19	25	67.6	0	0.0	1	8.3
4. 定年退職者		1	100.0	6	21	27	73.0	1	11.1	1	8.3
5. 無職 (定年退職者以外)		1	100.0	6	14	20	54.0	1	11.1	1	8.3
6. 把握していない・不明		0	0.0	7	9	16	43.2	2	22.2	0	0.0

【7. その他の具体的な回答】

- ・子育て中や子育て経験のある方が主
- ・登録者がいない
- ・20歳以上

《分析》

市町村立図書館のボランティア属性は、勤労者、定年退職者が8割から9割を占めている。次いで無職（定年退職者以外）となっている。一方で把握していない・不明と回答している図書館も多い。また、点字図書館においても、定年退職者や無職のボランティアが登録している。

(13) ボランティアの主な年齢層

問13. ボランティア登録（活動）をしている方の年代別人数を記入してください。

1. 10代

館種 人数	県立図書館 (館)	市町村立図書館		公民館 (館)	大学図書館 (館)
		10万人以上 (館)	10万人未満 (館)		
0-20		2	4		1

2. 20代

館種 人数	県立図書館 (館)	市町村立図書館		公民館 (館)	大学図書館 (館)
		10万人以上 (館)	10万人未満 (館)		
0-20		2	6		

3. 30代

館種 人数	県立図書館 (館)	市町村立図書館		公民館 (館)	大学図書館 (館)
		10万人以上 (館)	10万人未満 (館)		
0-20		3	7		

4. 40代

館種 人数	県立図書館 (館)	市町村立図書館		公民館 (館)	大学図書館 (館)
		10万人以上 (館)	10万人未満 (館)		
0-20		3	17	1	1

5. 50代

館種 人数	県立図書館 (館)	市町村立図書館		公民館 (館)	大学図書館 (館)
		10万人以上 (館)	10万人未満 (館)		
0-20		2	17	1	1
21-40		2			

6. 60代

館種 人数	県立図書館 (館)	市町村立図書館		公民館 (館)	大学図書館 (館)
		10万人以上 (館)	10万人未満 (館)		
0-20		1	15	1	
21-40		1	5		1
61-80		1			

7. 70代

館種 人数	県立図書館 (館)	市町村立図書館		公民館 (館)	大学図書館 (館)
		10万人以上 (館)	10万人未満 (館)		
0-20		1	21	1	1
21-40		2	2		

8. 80代

館種 人数	県立図書館 (館)	市町村立図書館		公民館 (館)	大学図書館 (館)
		10万人以上 (館)	10万人未満 (館)		
0-20		3	11		1

9. 不明

館種 人数	県立図書館 (館)	市町村立図書館		公民館 (館)	大学図書館 (館)
		10万人以上 (館)	10万人未満 (館)		
0-20		2	9	2	
21-40			2		
41-60		1	1		
61-80		1			
81-100		1	1		
101以上	1	1			

《分析》

ボランティアの属性の結果からも分かるように、勤労者、定年退職者、無職（定年退職者以外）の登録者が多いということで、50代、60代、70代という年齢層が各図書館とも多くなっている。また、ボランティアの年齢を把握していない図書館も多く、不明の回答も非常に多かった。

点字図書館は304名のボランティアが登録しているが、年齢は把握していないという回答であった。

(14) ボランティア活動の頻度

問14. 貴図書館のボランティアの活動は、どのような頻度で行われていますか。

目的	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 毎日活動している。		0	0.0	2	1	3	8.1	0	0.0	0	0.0
2. 毎週1日、曜日を決めて活動している。		0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
3. 曜日は決めていないが、毎週1日活動している。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 毎週2日以上、曜日を決めて活動している。		0	0.0	0	3	3	8.1	0	0.0	1	8.3
5. 曜日は決めていないが、毎週2日以上活動している。		0	0.0	1	0	1	2.7	0	0.0	0	0.0
6. 不定期に活動している。		0	0.0	4	7	11	29.7	2	22.2	1	8.3
7. その他		1	100.0	6	17	23	62.2	1	11.1	0	0.0

【7. その他の具体的な回答】

○10万人以上

- ・読み聞かせ・図書修理は1月に1回以上、配架・環境整備は不定期。
- ・イベントのある日に活動している。ボランティア参加のイベントは月に平均で5回ほどある。(月2回 第2土曜日・第4木曜日 ほか不定期開催も有り。)
- ・各団体及び個人(ブックスタートボランティア)で決まった曜日に、月1日活動している。
- ・配架ボランティアは、各自が自由な時間に活動し、頻度は各部会による。
- ・活動によって異なるが曜日を決めて、週2日の活動もあれば、月1、不定期もある。
- ・各団体に活動頻度が異なる。週1～月1

○10万人未満

- ・第2, 3, 4日曜日に図書館にて読み聞かせ、市内学校での随時読み聞かせ。
- ・各活動分野で2, 4, 5, 6の内容で行われている。
- ・団体ごとに異なる。週2, 1, 月2, 1など。
- ・第2, 4水曜日定例活動日、その他は自由に館内書架整理等行ってくれています。
- ・図書館の企画事業に合わせて活動しています。
- ・年6回程度参加している。
- ・週1回おはなしの会のほか、毎月1回の資料整理日、年1度の特別資料整理期間、週数回図書整理(1名)
- ・月に1回曜日を決めて活動している。
- ・定期的に活動している。
- ・赤ちゃんタイムのサポート及び読み聞かせ:毎週木曜日の午前中、おはなしボランティアの会による読み聞かせ:月2回(土曜日)程度、配架・環境美化等:不定期に活動を行う登録者がいない。
- ・月に1回活動している。
- ・図書館ボランティアについては不定期。ブックスタートボランティアについては、月1回と3～

4ヶ月見検診に活動。

- ・配架，館内整理担当は交代で毎日活動している。団体は，月2回読み聞かせ活動している。
- ・隔週で1回ずつ活動している。
- ・活動内容や個人によって頻度が違う。
- ・具体的に月に1回の読み聞かせ会・不定期で各種イベント。

○公民館

- ・毎月1回活動している

○県立図書館

- ・活動内容によって頻度が違う。

読み聞かせ・図書修理などはグループごとに定期的（月1日以上）に活動し、配架や環境整備などは随時である。

《分析》

【ボランティアの活動の頻度】について，市町村立図書館では，「その他」23館，「不定期に活動している」11館，「毎日活動している」「毎週2日以上，曜日を決めて活動している」ともに3館である。公民館では，「不定期に活動している」2館，「その他」1館である。大学図書館では，「毎週2日以上，曜日を決めて活動している」「不定期に活動している」ともに1館である。県立図書館においては，「その他」である。

その他具体的な回答については，市町村立図書館では，「読み聞かせ・図書修理は1月に1回以上，配架・環境整備は不定期」，「第2，3，4日曜日に図書館にて読み聞かせ，市内学校での随時読み聞かせ」等，公民館では，「毎月1回活動している」であった。県立図書館では，「活動内容によって頻度が異なることがうかがわれる。読み聞かせ・図書修理などはグループごとに定期的（月1日以上）に活動し，配架や環境整備などは随時」である。

(15) ボランティア活動の内容と企画

問15. (1) 貴図書館で、今年度行われた・行われている予定のボランティア活動は、どのような内容ですか。

読書活動の推進支援について	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 読書活動推進のためのイベントに関すること（図書館まつり，講演会等）	1	100.0	8	21	29	78.4	0	0.0	0	0.0
2. 読書活動推進のための広報，情報提供（チラシ，ポスター，情報誌作成等）	1	100.0	1	0	1	2.7	0	0.0	0	0.0
3. 図書館へ来館困難な方への支援（宅配）	0	0.0	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 情報サービス（図書や資料の検索等）	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	1	8.3
5. 配架や館内整理に関すること（棚の整理，館内外の美化等）	1	100.0	7	13	20	54.1	2	22.2	2	16.7
6. 本や資料の修繕・保存に関すること	1	100.0	6	13	19	51.4	1	11.1	1	8.3
7. その他	0	0.0	2	4	6	16.2	0	0.0	1	8.3

【7. その他具体的な回答】

○10万以上

- ・おはなし会
- ・環境整備（草取り，ガーデニング）
- ・布絵本製作

○10万未満

- ・ボランティア団体による自主企画事業の実施（市立図書館は共催支援）
- ・代読
- ・壁飾りの制作
- ・自治体内の小中学校や公民館図書館への搬送

○大学図書館

- ・来館者の見学案内

文化・芸術の振興支援 について	県立 図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学 図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10 万人 以上 (館)	10 万人 未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
8. 文化・芸術に関する事業 及び広報	0	0.0	1	1	2	5.4	0	0.0	0	0.0
9. 博物館（美術館含む）等 と連携した事業	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
10. 地域の伝統文化の映像資 料やデジタル資料の収集、 保存、提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11. 古文書、古地図、写真等 の貴重資料の保存	1	100.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 博物館（美術館含む）等 での読み聞かせや図書紹介 等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13. その他	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0

【13. その他具体的な回答】

○10万未満

・図書館，小学校，児童館，老人ホーム等での読み聞かせ

子育て支援について	県立 図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学 図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10 万人 以上 (館)	10 万人 未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
14. 子育てに関する図書コー ナーの配置や整備	0	0.0	1	0	1	2.7	0	0.0	0	0.0
15. 乳幼児・児童・親子を対 象とした講座での読み聞か せ等	1	100.0	7	14	21	56.8	2	22.2	0	0.0
16. 乳幼児・児童・親子を対 象とした講座のチラシや広 報誌の作成	0	0.0	1	1	2	5.4	0	0.0	0	0.0
17. 育児相談やブックスター トの場での絵本紹介や読み 聞かせ	0	0.0	7	20	27	73.0	0	0.0	0	0.0
18. その他	0	0.0	0	5	5	13.5	1	11.1	0	0.0

【18. その他具体的な回答】

○10万未満

- ・定例おはなし会での読み聞かせ、幼稚園等への出前読み聞かせ、折り紙教室
- ・幼稚園児を対象としたおはなし会での読み聞かせ
- ・赤ちゃんタイムのサポート及び読み聞かせ・おはなしボランティアの会による読み聞かせ

○公民館

- ・村立教育機関（幼稚園・保育所）で読み聞かせ

学校教育支援について	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
19. 学校への団体貸出・巡回文庫等	0	0.0	0	4	4	10.8	0	0.0	0	0.0
20. 学校教育支援について	0	0.0	4	15	19	51.4	0	0.0	0	0.0
21. 授業における講師としての活動等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
22. 学校図書館への整備支援	1	100.0	0	2	2	5.4	0	0.0	0	0.0
23. 授業や行事等における資料・情報提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24. その他	0	0.0	0	1	1	2.7	1	11.1	0	0.0

【24. その他の具体的な回答】

○10万未満

- ・社会科見学時の館内案内係

○公民館

- ・小中学校での児童・生徒による選書

地域づくり・まちづくりへの貢献について	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
25. 郷土資料を活用した学習に関すること（郷土資料コーナー設置，郷土史講座等）	0	0.0	1	1	2	5.4	0	0.0	0	0.0
26. 健康づくりや環境問題等に関わる活動（健康作り講座，環境関連図書展示等）	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
27. 中高年，高齢者の社会参加支援（セカンドライフ講座，地域活動を進める上で参考となる図書展示等）	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
28. 障がい者サービスに関わること（録音図書，点字図書の制作等）	1	100.0	3	7	10	27.0	0	0.0	1	8.3
29. 在住外国人への図書・資料・情報提供	0	0.0	1	0	1	2.7	0	0.0	0	0.0
30. 学生や留学生への学習支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	1	8.3
31. その他	0	0.0	1	2	3	8.1	0	0.0	1	8.3

【31. その他の具体的な回答】

○10万以上

- ・市内保育所・幼稚園等での読み聞かせ活動

○10万未満

- ・地域に関する新聞記事を切り抜く

○大学図書館

- ・留学生向け日本文化イベント

《分析》

読書活動の推進支援について，市町村立図書館では，「読書活動推進のためのイベントに関すること（図書館まつり，講演会等）」29館，「配架や館内整理に関すること（棚の整理，館内外の美化等）」20館，「本や資料の修繕・保存に関すること」19館である。公民館では，「配架や館内整理に関すること（棚の整理，館内外の美化等）」2館である。

県立図書館では，「読書活動推進のためのイベントに関すること（図書館まつり，講演会等）」，「読書活動推進のための広報，情報提供（チラシ，ポスター，情報誌作成等）」，「配架や館内整理に関すること（棚の整理，館内外の美化等）」，「本や資料の修繕・保存に関すること」に記入有り。

その他具体的な回答としては，市町村立図書館では，「おはなし会・環境整備（草取り，ガーデニング）」・「壁飾りの制作等」があった。大学図書館では，「来館者の見学案内」があった。

文化・芸術の振興支援について，市町村立図書館では，「文化・芸術に関する事業及び広報」2館，「博物館（美術館含む）等と連携した事業」1館であった。県立図書館では，「古文書，古地図，写真等の貴重資料の保存」があった。

その他具体的な回答としては，市町村立図書館では，「図書館，小学校，児童館，老人ホーム等での読み聞かせ」があった。

子育て支援について、市町村立図書館では、「育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ」27館、「乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等」21館である。公民館では、「乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等」2館であった。県立図書館では、「乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等」があった。

その他具体的な回答としては、「幼児園児を対象としたおはなし会での読み聞かせ等」があった。

学校教育支援について、市町村立図書館では、「学校教育支援について」19館、「学校への団体貸出・巡回文庫等」4館、「学校図書館への整備支援」2館である。公民館では、「その他」1館である。県立図書館では、「学校図書館への整備支援」があった。

その他具体的な回答としては、市町村立図書館では、「社会科見学時の館内案内係」、公民館では、「小中学校での児童・生徒による選書」があった。

地域づくり・まちづくりへの貢献について、市町村立図書館においては、「障がい者サービスに関わること（録音図書、点字図書の制作等）」10館、「その他」3館であった。大学図書館では、「障がい者サービスに関わること（録音図書、点字図書の制作等）」・「学生や留学生への学習支援」・「その他」がそれぞれ1館である。県立図書館では、「障がい者サービスに関わること（録音図書、点字図書の制作等）」、その他機関についても同様であった。

その他具体的な回答としては、市町村立図書館では、「市内保育所・幼稚園等での読み聞かせ活動」、「地域に関する新聞記事を切り抜く」があった。大学図書館では、「留学生向け日本文化イベント」があった。

(2) 問15-(1) で○を記入したボランティア活動は、どのように企画されたものか

問 15 (2) - 1 職員が活動内容を企画している。	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10 万人 以上 (館)	10 万人 未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 読書活動推進のためのイベントに関すること(図書館まつり、講演会等)	1	100.0	3	8	11	29.7	1	11.1	0	0.0
2. 読書活動推進のための広報、情報提供(チラシ、ポスター、情報誌作成等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3. 図書館へ来館困難な方への支援(宅配)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 情報サービス(図書や資料の検索等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	1	8.3
5. 配架や館内整理に関すること(棚の整理、館内外の美化等)	1	100.0	0	7	7	18.9	0	0.0	1	8.3
6. 本や資料の修繕・保存に関すること	0	0.0	2	3	5	13.5	0	0.0	1	0.0
7. その他	0	0.0	1	1	2	5.4	0	0.0	1	8.3
8. 文化・芸術に関する事業及び広報	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9. 博物館(美術館含む)等と連携した事業	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10. 地域の伝統文化の映像資料やデジタル資料の収集、保存、提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11. 古文書、古地図、写真等の貴重資料の保存	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 博物館(美術館含む)等での読み聞かせや図書紹介等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14. 子育てに関する図書コーナーの配置や整備	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等	0	0.0	0	3	3	8.1	0	0.0	0	0.0
16. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座のチラシや広報誌の作成	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
17. 育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ	0	0.0	5	8	13	35.1	0	0.0	0	0.0
18. その他	0	0.0	0	2	2	5.4	0	0.0	0	0.0
19. 学校への団体貸出・巡回文庫等	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
20. 学校教育支援について	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
21. 授業における講師としての活動等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
22. 学校図書館への整備支援	1	100.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
23. 授業や行事等における資料・情報提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24. その他	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
25. 郷土資料を活用した学習に関すること(郷土資料コーナー設置、郷土史講座等)	0	0.0	1	0	1	2.7	0	0.0	0	0.0
26. 健康づくりや環境問題等に関わる活動(健康作り講座、環境関連図書展示等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
27. 中高年、高齢者の社会参加支援(セカンドライフ講座、地域活動を進める上で参考となる図書展示等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
28. 障がい者サービスに関わること(録音図書、点字図書の制作等)	0	0.0	1	1	2	5.4	0	0.0	1	8.3
29. 在住外国人への図書・資料・情報提供	0	0.0	1	0	1	2.7	0	0.0	0	0.0
30. 学生や留学生への学習支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31. その他	0	0.0	1	1	2	5.4	0	0.0	0	0.0

問 15 (2) - 2 主として職員が活動内容を企画しているが、ボランティアが企画に加わることもある。	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 読書活動推進のためのイベントに関すること (図書館まつり, 講演会等)	0	0.0	0	3	3	8.1	0	0.0	0	0.0
2. 読書活動推進のための広報, 情報提供 (チラシ, ポスター, 情報誌作成等)	1	100.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3. 図書館へ来館困難な方への支援 (宅配)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 情報サービス (図書や資料の検索等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 配架や館内整理に関すること (棚の整理, 館内外の美化等)	0	0.0	1	0	1	2.7	0	0.0	1	8.3
6. 本や資料の修繕・保存に関すること	1	100.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
7. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8. 文化・芸術に関する事業及び広報	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9. 博物館 (美術館含む) 等と連携した事業	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10. 地域の伝統文化の映像資料やデジタル資料の収集, 保存, 提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11. 古文書, 古地図, 写真等の貴重資料の保存	1	100.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 博物館 (美術館含む) 等での読み聞かせや図書紹介等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14. 子育てに関する図書コーナーの配置や整備	0	0.0	1	0	1	2.7	0	0.0	0	0.0
15. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等	1	100.0	2	0	2	5.4	0	0.0	0	0.0
16. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座のチラシや広報誌の作成	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
17. 育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ	0	0.0	0	3	3	8.1	0	0.0	0	0.0
18. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
19. 学校への団体貸出・巡回文庫等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20. 学校教育支援について	0	0.0	0	3	3	8.1	0	0.0	0	0.0
21. 授業における講師としての活動等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
22. 学校図書館への整備支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
23. 授業や行事等における資料・情報提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
25. 郷土資料を活用した学習に関すること (郷土資料コーナー設置, 郷土史講座等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
26. 健康づくりや環境問題等に関わる活動 (健康作り講座, 環境関連図書展示等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
27. 中高年, 高齢者の社会参加支援 (セカンドライフ講座, 地域活動を進める上で参考となる図書展示等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
28. 障がい者サービスに関わること (録音図書, 点字図書の制作等)	1	100.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
29. 在住外国人への図書・資料・情報提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30. 学生や留学生への学習支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	1	8.3
31. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

問 15 (2) - 3 職員とボランティアが、共同 で活動内容を企画している。	県立 図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民 館 (館)	割合 N=9 (%)	大学 図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10 万人 以上 (館)	10 万人 未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 読書活動推進のためのイベントに関すること(図書館まつり, 講演会等)	0	0.0	1	4	5	13.5	0	0.0	0	0.0
2. 読書活動推進のための広報, 情報提供(チラシ, ポスター, 情報誌作成等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3. 図書館へ来館困難な方への支援(宅配)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 情報サービス(図書や資料の検索等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 配架や館内整理に関すること(棚の整理, 館内外の美化等)	0	0.0	0	2	2	5.4	0	0.0	0	0.0
6. 本や資料の修繕・保存に関すること	0	0.0	0	3	3	8.1	0	0.0	0	0.0
7. その他	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
8. 文化・芸術に関する事業及び広報	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9. 博物館(美術館含む)等と連携した事業	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10. 地域の伝統文化の映像資料やデジタル資料の収集, 保存, 提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11. 古文書, 古地図, 写真等の貴重資料の保存	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 博物館(美術館含む)等での読み聞かせや図書紹介等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14. 子育てに関する図書コーナーの配置や整備	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等	0	0.0	0	2	2	5.4	0	0.0	0	0.0
16. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座のチラシや広報誌の作成	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
17. 育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ	0	0.0	0	2	2	5.4	0	0.0	0	0.0
18. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
19. 学校への団体貸出・巡回文庫等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20. 学校教育支援について	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21. 授業における講師としての活動等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
22. 学校図書館への整備支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
23. 授業や行事等における資料・情報提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
25. 郷土資料を活用した学習に関すること(郷土資料コーナー設置, 郷土史講座等)	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
26. 健康づくりや環境問題等に関わる活動(健康作り講座, 環境関連図書展示等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
27. 中高年, 高齢者の社会参加支援(セカンドライフ講座, 地域活動を進める上で参考となる図書展示等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
28. 障がい者サービスに関わること(録音図書, 点字図書の制作等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
29. 在住外国人への図書・資料・情報提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30. 学生や留学生への学習支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

問 15 (2) - 4 主としてボランティアが活動を企画するが、職員が企画に加わることもある。	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 読書活動推進のためのイベントに関すること (図書館まつり, 講演会等)	0	0.0	2	2	4	10.8	0	0.0	0	0.0
2. 読書活動推進のための広報, 情報提供 (チラシ, ポスター, 情報誌作成等)	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
3. 図書館へ来館困難な方への支援 (宅配)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 情報サービス (図書や資料の検索等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 配架や館内整理に関すること (棚の整理, 館内外の美化等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6. 本や資料の修繕・保存に関すること	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
7. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8. 文化・芸術に関する事業及び広報	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9. 博物館 (美術館含む) 等と連携した事業	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10. 地域の伝統文化の映像資料やデジタル資料の収集, 保存, 提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11. 古文書, 古地図, 写真等の貴重資料の保存	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 博物館 (美術館含む) 等での読み聞かせや図書紹介等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14. 子育てに関する図書コーナーの配置や整備	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
16. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座のチラシや広報誌の作成	0	0.0	2	0	2	5.4	0	0.0	0	0.0
17. 育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ	0	0.0	1	0	1	2.7	0	0.0	0	0.0
18. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
19. 学校への団体貸出・巡回文庫等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20. 学校教育支援について	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21. 授業における講師としての活動等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
22. 学校図書館への整備支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
23. 授業や行事等における資料・情報提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
25. 郷土資料を活用した学習に関すること (郷土資料コーナー設置, 郷土史講座等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
26. 健康づくりや環境問題等に関わる活動 (健康作り講座, 環境関連図書展示等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
27. 中高年, 高齢者の社会参加支援 (セカンドライフ講座, 地域活動を進める上で参考となる図書展示等)	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
28. 障がい者サービスに関わること (録音図書, 点字図書の制作等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
29. 在住外国人への図書・資料・情報提供	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
30. 学生や留学生への学習支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	1	8.3

問 15 (2) - 5 ボランティアが活動内容を企画している。	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 読書活動推進のためのイベントに関すること (図書館まつり, 講演会等)	0	0.0	1	1	2	5.4	0	0.0	0	0.0
2. 読書活動推進のための広報, 情報提供 (チラシ, ポスター, 情報誌作成等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3. 図書館へ来館困難な方への支援 (宅配)	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
4. 情報サービス (図書や資料の検索等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 配架や館内整理に関すること (棚の整理, 館内外の美化等)	0	0.0	2	2	4	10.8	0	0.0	0	0.0
6. 本や資料の修繕・保存に関すること	0	0.0	1	1	2	5.4	0	0.0	0	0.0
7. その他	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
8. 文化・芸術に関する事業及び広報	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9. 博物館 (美術館含む) 等と連携した事業	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10. 地域の伝統文化の映像資料やデジタル資料の収集, 保存, 提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11. 古文書, 古地図, 写真等の貴重資料の保存	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 博物館 (美術館含む) 等での読み聞かせや図書紹介等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14. 子育てに関する図書コーナーの配置や整備	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
16. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座のチラシや広報誌の作成	0	0.0	1	4	5	13.5	2	22.2	0	0.0
17. 育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ	0	0.0	1	0	1	2.7	0	0.0	0	0.0
18. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
19. 学校への団体貸出・巡回文庫等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20. 学校教育支援について	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21. 授業における講師としての活動等	0	0.0	1	5	6	16.2	0	0.0	0	0.0
22. 学校図書館への整備支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
23. 授業や行事等における資料・情報提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
25. 郷土資料を活用した学習に関すること (郷土資料コーナー設置, 郷土史講座等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
26. 健康づくりや環境問題等に関わる活動 (健康作り講座, 環境関連図書展示等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
27. 中高年, 高齢者の社会参加支援 (セカンドライフ講座, 地域活動を進める上で参考となる図書展示等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
28. 障がい者サービスに関わること (録音図書, 点字図書の制作等)	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
29. 在住外国人への図書・資料・情報提供	0	0.0	1	3	4	10.8	0	0.0	0	0.0
30. 学生や留学生への学習支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

問 15 (2) - 6 (6) 活動の内容によって、 企画の主体者 が変わる。	県立 図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民 館 (館)	割合 N=9 (%)	大学 図書館 (館)	割合 N=12 (%)
			10 万人 以上 (館)	10 万人 未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 読書活動推進のためのイベントに関すること（図書館まつり、講演会等）	0	0.0	1	3	4	10.6	0	0.0	0	0.0
2. 読書活動推進のための広報、情報提供（チラシ、ポスター、情報誌作成等）	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
3. 図書館へ来館困難な方への支援（宅配）	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. 情報サービス（図書や資料の検索等）	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 配架や館内整理に関すること（棚の整理、館内外の美化等）	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6. 本や資料の修繕・保存に関すること	0	0.0	1	3	4	10.8	0	0.0	0	0.0
7. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8. 文化・芸術に関する事業及び広報	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9. 博物館（美術館含む）等と連携した事業	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
10. 地域の伝統文化の映像資料やデジタル資料の収集、保存、提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11. 古文書、古地図、写真等の貴重資料の保存	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 博物館（美術館含む）等での読み聞かせや図書紹介等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14. 子育てに関する図書コーナーの配置や整備	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等	0	0.0	1	1	2	5.4	0	0.0	0	0.0
16. 乳幼児・児童・親子を対象とした講座のチラシや広報誌の作成	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
17. 育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ	0	0.0	1	0	1	2.7	0	0.0	0	0.0
18. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
19. 学校への団体貸出・巡回文庫等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20. 学校教育支援について	0	0.0	1	1	2	5.4	0	0.0	0	0.0
21. 授業における講師としての活動等	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
22. 学校図書館への整備支援	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
23. 授業や行事等における資料・情報提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
25. 郷土資料を活用した学習に関すること（郷土資料コーナー設置、郷土史講座等）	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
26. 健康づくりや環境問題等に関わる活動（健康作り講座、環境関連図書展示等）	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
27. 中高年、高齢者の社会参加支援（セカンドライフ講座、地域活動を進める上で参考となる図書展示等）	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
28. 障がい者サービスに関わること（録音図書、点字図書の制作等）	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
29. 在住外国人への図書・資料・情報提供	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30. 学生や留学生への学習支援	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

《分析》

【職員が活動内容を企画している】では、市町村立図書館で「18 育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ」13館、「1 読書活動の推進支援のためのイベントに関すること（図書館まつり、講演会等）」11館、「5 配架や館内整理に関すること（棚の整理、館内外の美化等）」7館である。公民館においては、「1 読書活動の推進支援のためのイベントに関すること（図書館まつり、講演会等）」1館である。大学図書館では、「4 情報サービス（図書や資料の検索等）」「5 配架や館内整理に関すること（棚の整理、館内外の美化等）」「6 本や資料の修繕・保存に関すること」「7 その他」「29 障がい者サービスに関わること（録音図書、点字図書の制作等）」がそれぞれ1館である。県立図書館は、「1 読書活動の推進支援のためのイベントに関すること（図書館まつり、講演会等）」「23 学校図書館への整備支援」であった。その他の機関では、「29 障がい者サービスに関わること（録音図書、点字図書の制作等）」である。

【主として職員が活動内容を企画しているが、ボランティアが企画に加わることもある】では、市町村立図書館で「1 読書活動の推進支援のためのイベントに関すること（図書館まつり、講演会等）」「18 育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ」「21 学校教育支援について」それぞれ3館である。大学図書館では、「5 配架や館内整理に関すること（棚の整理、館内外の美化等）」「31 学生や留学生への学習支援」それぞれ1館、県立図書館では、「2 読書活動推進のための広報、情報提供（チラシ、ポスター、情報誌作成等）」「6 本や資料の修繕・保存に関すること」「11 古文書、古地図、写真等の貴重資料の保存」「16 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等」「29 障がい者サービスに関わること（録音図書、点字図書の制作等）」である。公民館及びその他の機関においては、該当なしである。

【職員とボランティアが、共同で活動内容を企画している】では、市町村立図書館で「1 読書活動の推進支援のためのイベントに関すること（図書館まつり、講演会等）」5館、「6 本や資料の修繕・保存に関すること」3館、「5 配架や館内整理に関すること（棚の整理、館内外の美化等）」「18 育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ」がそれぞれ2館である。公民館・大学図書館・県立図書館及びその他の機関は該当なしである。

【主としてボランティアが活動内容を企画するが、職員が企画に加わることもある】では、市町村立図書館で「1 読書活動の推進支援のためのイベントに関すること（図書館まつり、講演会等）」4館、「16 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等」2館である。大学図書館では、「32 その他」1館である。公民館・県立図書館及びその他の機関は該当なしである。

【ボランティアが活動内容を企画している】では、市町村立図書館で「1 読書活動の推進支援のためのイベントに関すること（図書館まつり、講演会等）」23館、「21 学校教育支援について」8館である。公民館では、「16 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等」2館である。大学図書館・県立図書館及びその他の機関は該当なしである。

【活動内容によって、企画の主体者が変わる】では、市町村立図書館で「1 読書活動の推進支援のためのイベントに関すること（図書館まつり、講演会等）」「6 本や資料の修繕・保存に関すること」がそれぞれ4館、「16 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等」「21 学校教育支援について」がそれぞれ2館である。公民館・大学図書館・県立図書館及びその他の機関は該当なしである。

(16) ボランティアに対する図書館主催の研修の有無

問16. 貴図書館では、平成30年度にボランティアに対して貴図書館が主催する研修を何回実施しましたか。該当するものを選択肢から選び、解答欄に番号を記入してください。

回数	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. 1回		1	100.0	3	3	6	16.2	0	0.0	0	0.0
2. 2回		0	0.0	1	3	4	10.8	0	0.0	0	0.0
3. 3回以上		0	0.0	0	4	4	10.8	0	0.0	1	8.3
4. 実施なし		0	0.0	3	18	21	56.8	3	33.3	1	8.3

《分析》

ボランティアに対して研修を実施した回数として多かったのは、年1回が市町村立図書館で6館であった。

また、年2回以上研修を行っている市町村立図書館も8館あった。県立図書館においては、年1回行っており、大学図書館においては研修を行っているのは1館のみだが、研修を年3回以上行っていた。

(17) ボランティアに対する図書館主催の研修の時期

問17. ボランティアに対する研修会を実施している図書館に伺います。研修会はどのような時期に実施しましたか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。

回数	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=12 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. ボランティアを受け入れた時期		0	0.0	0	2	2	14.3	0	0.0	1	100.0
2. 年間計画で決められた時期		1	100.0	4	10	14	100.0	0	0.0	1	100.0
3. ボランティアから希望が出た時期		0	0.0	0	1	1	7.1	0	0.0	0	0.0
4. その他		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

《分析》

研修会の実施時期で最も多かったのは、年間計画で決められた時期が市町村で14館であった。県立図書館についても同じように、年間計画で決められた時期に行っていた。大学図書館については研修会を実施している館が1館のみであるが、ボランティアを受け入れた時期及び年間計画で決められた時期と両方行っている。

(18) ボランティアに対する図書館主催の研修の学習内容

問18. ボランティアに対する研修会を実施している図書館に伺います。研修会の内容はどのようなものでしたか。該当するすべての解答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。

館種 研修内容	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=0 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=1 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=14 (%)				
1. ボランティア活動についての考え方に関するもの	0	0.0	3	2	5	35.7	0	0.0	1	100.0
2. 時間の運営状況・活動状況に関するもの	1	100.0	2	2	4	28.6	0	0.0	1	100.0
3. ボランティア活動の知識に関するもの	1	100.0	3	6	9	64.3	0	0.0	1	100.0
4. ボランティア活動の技術に関するもの	1	100.0	3	6	7	50.0	0	0.0	1	100.0
5. ボランティア活動の安全に関するもの	0	0.0	3	0	3	21.4	0	0.0	0	0.0
6. 職員やボランティア同士の情報交換・交流を目的としたもの	1	100.0	3	8	11	78.6	0	0.0	0	0.0
7. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

《分析》

研修会の内容で最も多かったのは、「職員やボランティア同士の情報交換・交流を目的としたもの」で、市町村立図書館が11館であった。続いて多かったのが、「ボランティア活動の知識に関するもの」で9館であった。県立図書館及び大学図書館においては、研修会を実施しているのはそれぞれ1館ずつであるが、複数のテーマを選んで研修を行っていた。

(19) ボランティアの自主的な活動

問19. ボランティア自身が、円滑な活動をするために、自主的に行っている活動には、どのようなものがありますか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。

館種 活動内容	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=9 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=1 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=37 (%)				
1. ボランティア活動への理解を深めたり、スキルアップを図ったりするための研修	1	100.0	3	9	12	32.4	0	0.0	1	100.0
2. 図書館職員との共通理解を図るための情報交換会	0	0.0	1	11	12	32.4	0	0.0	0	0.0
3. ボランティア同士の情報交換、親睦会	1	100.0	4	12	16	43.2	0	0.0	1	100.0
4. その他	0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0

【4. その他の具体的な回答】

特に行っていない。

《分析》

ボランティア自身が、円滑な活動をするために自主的に行っている活動で最も多かったのが、「ボランティア同士の情報交換、親睦会」が市町村立図書館で16館であった。また、「ボランティア活動への理解を深めたり、スキルアップを図ったりするための研修」及び「図書館職員との情報交換」がそれぞれ12館であった。県立図書館及び大学図書館においては、「ボランティア活動への理解を深めたり、スキルアップを図ったりするための研修」と「ボランティア同士の情報交換、親睦会」を行っていた。点字図書館においては、「ボランティア活動への理解を深めたり、スキルアップを図ったりするための研修」と「図書館職員との共通理解を図るための情報交換会」を行っていた。

(20) ボランティアに対する経済的支援の有無

問20. 貴図書館では、ボランティア活動に対して経済的な支援をしていますか。

有無	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=3 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=2 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=36 (%)				
している		0	0.0	3	14	17	47.2	1	33.3	1	50.0
していない		1	100.0	5	14	19	52.8	2	66.7	1	50.0

《分析》

・回答館43館のうち経済的な支援をしている館が19館、支援をしていない館が23館と経済的な支援をしていない館の方が多い。

(21) ボランティアに対する経済的支援の内容

問21. ボランティアに対して経済的な支援をしている図書館に伺います。どのような内容に経済的な支援をしていますか。

内容	館種	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=1 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=1 (%)
		10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=17 (%)				
報償費（謝金）		2	7	9	52.9	1	100.0	0	0.0
食事代		0	5	5	29.4	0	0.0	0	0.0
交通費		1	1	2	11.8	0	0.0	0	0.0
消耗品代（材料代，用具購入費，印刷代）		2	11	13	76.5	0	0.0	1	100.0
その他		1	1	2	11.8	0	0.0	0	0.0

【その他の具体的な回答】

- ・図書カード（水戸市立中央図書館）
- ・団体懇親会，総会等に関する事務局すべて。（潮来市立図書館）

【記述回答】

報償費について：活動時の駐車場利用料等の補填として（1回活動につき500円）（日立市立記念図書館）

《分析》

・報償費や消耗品費を支援している図書館が多く，報償費のみ消耗品費のみと単項目で支援を行っている図書館もあれば，報償費と消耗品費，食事代と消耗品費のように複数項目で支援を行っている図書館もある。

(22) ボランティアに対する保険の内容

問22. 貴図書館で活動するボランティアは、保険に加入していますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。

内容	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=3 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=2 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=36 (%)				
自治体や図書館が全額負担して、保険に加入している。		1	100.0	4	19	23	63.9	1	33.3	1	50.0
自治体や図書館が一部を負担して、保険に加入している。		0	0.0	1	3	4	11.1	0	0.0	0	0.0
ボランティアが全額負担して、保険に加入している。		0	0.0	1	1	2	5.6	0	0.0	0	0.0
保険の加入について把握していない。		0	0.0	1	3	4	11.1	1	33.3	1	50.0
その他		0	0.0	1	2	3	8.3	0	0.0	0	0.0

【その他の具体的な回答】

- ・社会福祉協議会へのボランティア登録を行い、社会福祉協議会負担の保険に加入している。(ひたちなか市立中央図書館)
- ・団体ボランティアの構成員は社会福祉協議会のボランティアに登録しているが、個人は自治体負担している。(小美玉市小川図書館, 小美玉市玉里図書館)
- ・加入していない

【記述回答】

自治体や図書館が全額負担して、保険に加入しているについて：神栖市外の方はお住まいの社会福祉協議会でボランティア保険に加入(神栖市立中央図書館)

《分析》

- ・自治体や図書館が全額負担して保険に加入している図書館が多い。

(23) ボランティアコーディネーターの配置の有無

問23. 貴図書館において、ボランティアコーディネーターの配置をしていますか。

有無	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=3 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=2 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=36 (%)				
している		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	1	50.0
していない		1	100.0	8	28	36	100.0	2	66.7	1	50.0

(24) ボランティアコーディネーターの属性

《分析》

・ボランティアコーディネーターを配置している図書館は大学図書館1館のみで、担っているのは図書館職員であった。

(25) ボランティア活動において解決した課題

問25. 貴図書館のボランティア活動において、既に解決した課題はどんなことですか。該当するものの中で、最も特徴的な事柄の回答欄に○を記入してください。また、その解決策について記入してください。なお、「その他」については具体的に記入してください。

目的	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=3 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=2 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=36 (%)				
1. ボランティアが不足している		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2. ボランティアコーディネーターがない		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3. ボランティアが高齢化している		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4. ボランティアを担当する職員が多忙化している。		0	0.0	1	0	1	2.7	1	33.3	0	0.0
5. ボランティアに対する職員の理解が足りない。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6. ボランティアに対する地域住民の理解が足りない。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7. ボランティア同士の間関係がうまくいっていない。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8. ボランティアに対する館内状況についての情報提供が十分でない。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9. ボランティアのマッチング機能が十分でない。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10. 予算が不足している。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11. 活動がマンネリ化している。		0	0.0	0	1	1	2.7	0	0.0	0	0.0
12. 保険が不十分である。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13. 特になし		1	100.0	6	15	21	56.8	3	100.0	1	50.0
14. その他		0	0.0	0	2	2	5.4	0	0.0	0	0.0

(その他回答)

銚田市立図書館

司書が学校へ出向いてブックトークを行っていた。

東海村立図書館

ボランティア活動に関する知識の平均化。

(解決策回答)

土浦市立図書館

職員の人数増。

潮来市立図書館

自主的な行動をより積極的に展開してもらうよう働きかけた。

東海村立図書館

講習会実施。

(26) ボランティア活動における現在抱えている課題

問26. 貴図書館のボランティア活動の現在の課題はどんなことですか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。

目的	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=3 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=2 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=36 (%)				
1. ボランティアが不足している。		0	0.0	5	13	18	50.0	1	33.3	1	50.0
2. ボランティアコーディネーターがいない。		0	0.0	3	3	6	16.7	0	0.0	1	50.0
3. ボランティアが高齢化している。		1	100.0	6	22	28	77.8	1	33.3	1	50.0
4. ボランティアを担当する職員が多忙化している。		0	0.0	1	3	4	11.1	1	33.3	2	100.0
5. ボランティアに対する職員の理解が足りない。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6. ボランティアに対する地域住民の理解が足りない。		0	0.0	1	1	2	5.6	0	0.0	0	0.0
7. ボランティア同士の間関係がうまくいっていない。		0	0.0	1	0	1	2.8	0	0.0	1	50.0
8. ボランティアに対する館内状況についての情報提供が十分でない。		0	0.0	1	1	2	5.6	0	0.0	1	50.0
9. ボランティアのマッチング機能が十分でない。		0	0.0	0	0	0	0.0	1	33.3	1	50.0
10. 予算が不足している。		0	0.0	1	1	2	5.6	0	0.0	1	50.0
11. 活動がマンネリ化している。		0	0.0	0	8	8	22.2	0	0.0	2	100.0
12. 保険が不十分である。		0	0.0	1	0	1	2.8	0	0.0	0	0.0
13. 特になし		0	0.0	3	2	5	13.9	2	66.6	0	0.0
14. その他		0	0.0	1	3	4	11.1	0	0.0	0	0.0

(その他回答)

市立図書館

今後不足のボランティア増を図らなければならない。

市立図書館

ボランティアが求めるスキルを得られる定期的な研修や新規の方が加入できる雰囲気作りのためのコミュニケーションが必要。

市立図書館

図書館ボランティアが活動できる専用の部屋・場所がない

町立図書館

定期的な館外環境美化活動のボランティアの不足

《分析》

ボランティア活動における現在の課題を質問したところ、最も多い回答はボランティアの高齢化であり、とりわけ市町村立図書館では7割以上が回答している。次に多く挙げられた課題はボランティアの不足であり、これも市町村立図書館に顕著な傾向が見られ、5割から6割前後が回答している。これらのことから、市町村立図書館においては高齢化と人手不足が大きな課題であることが伺える。その他にはボランティア担当職員の多忙化が挙げられ、これは市町村立図書館に限らず公民館・大学図書館などからも回答があり、多忙化はどの図書館にも共通してみられる課題であることが見て取れる。

なお、その他の機関からの回答は『10 予算が不足している』が1館あった。

(27) ボランティア活動が行われていない理由

問27. ボランティア活動が行われていない理由として、該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。

目的	館種	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=3 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=9 (%)
				10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=1 (%)				
1. 施設運営は、職員が行う方針だから。		0	0.0	0	0	0	0.0	2	0.7	4	44.4
2. ボランティアを受け入れる体制が整ってないから。		0	0.0	0	1	1	100.0	0	0.0	6	66.7
3. ボランティア活動に対して、準備や支援の方法がわからないから。		0	0.0	0	1	1	100.0	0	0.0	1	11.1
4. ボランティア活動の場がないから。		0	0.0	0	0	0	0.0	1	0.3	1	11.1
5. ボランティアの募集をしたが、希望者がいなかったから		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6. 予算が不足しているから。		0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	3	33.3
7. その他		0	0.0	0	0	0	0.0	1	0.3	1	11.1

(その他回答)

常総市地域交流センター ホール、展示施設等の複合施設の図書室であることから最低限のサービスにとどめている。

《分析》

ボランティア活動が行われていない理由を尋ねたところ、公民館ならびに大学図書館等から多くの回答があった。回答は主に「施設運営は職員が行う方針だから」「ボランティアの受け入れ態勢が整っていない」「ボランティアの募集をしたが希望者がいなかった」の3点に集中しているが、とりわけ受入態勢の不備については大学図書館から5割を超える回答があった。

なお、その他の機関からの回答は『1 施設運営は、職員が行う方針だから』が1館あった。

(28) ボランティア活動を今後行う予定

問28. ボランティア活動が行われていない図書館に伺います。今後、ボランティアが活動を行う予定はありますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。

館種 目的	県立図書館 (館)	割合 N=1 (%)	市町村立図書館				公民館 (館)	割合 N=3 (%)	大学図書館 (館)	割合 N=9 (%)
			10万人以上 (館)	10万人未満 (館)	合計 (館)	割合 N=1 (%)				
1. ボランティア登録制度をつくる予定である。	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2. ボランティア活動の機会を提供する予定がある。	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3. 特になし	0	0.0	0	1	1	100.0	3	100.0	9	100.0
4. その他	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

3. 实践事例

●図書館名：茨城県立図書館

●児童サービスボランティア

(1) 図書館概要

名称	茨城県立図書館
連絡先	住所：〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 電話：029-221-5569 / FAX：029-228-3583 E-MAIL：info@lib.pref.ibaraki.jp URL：https://www.lib.pref.ibaraki.jp
概要	設立年：明治36年 運営主体：茨城県 資料総数：1,032,843冊（点）（平成31年3月31日） 入館者数：40.9万人（平成30年度実績） 累計登録者数：139,291人（平成31年3月31日） 職員数：59名（平成31年4月1日）

(2) ボランティア活動名 おはなし会

(3) 活動の実際

・おはなし会について

平成13年に移転開館以来、週3・4日開催している。毎週土・日は午前・午後の2回、平日も、毎日ではないが、すべての曜日におはなしかいを行い、参加できる機会を広げるようにしている。また、第1・3木曜日には赤ちゃんを中心とした「ちいさい子のためのおはなしかい」行なっている。

参加する子どもたちは、男女ともほぼ同数であり、未就学児が多い。近隣の保育施設の散歩コースのひとつにもなっている。年間約4000名が参加している。内容には、絵本の読み聞かせのほか、わらべうた・エプロンシアター・腹話術なども取り入れている。



おはなしかいの様子をボランティアさんに聞くと、子どもたちの関心が薄れないよう、2-5分のお話を読み、代わりに、5～10種類の絵本で問いかけるようにしているという。途中で子どもたちの表情や動作などを見て、そのまま続けるか、いっしょに歌を歌った方が良かったかなど、ボランティア同士のコンビネーションと経験により、打ち合わせなしでも、内容を自由に変更して対応している。また、子どもたちに「大きくなったね」「久しぶりだね」と声をかけている様子がみられ、子どもたちや保護者とボランティア、保護者同士の交流の場にもなっている。



・読書フェスティバル時の企画について

年に2回の読書フェスティバルでは、10時半から15時半まで通しておこなう「スペシャルおはなし会」や「クラフト教室」を行っている。



・ボランティアの構成について

児童サービスボランティアグループの人数は、現在、55人(女性50人、男性5人)、年齢構成は、40-70歳台であり、60歳台がいちばん多く、最高齢は、女性80歳台である。ボランティアさんの中には、「良い刺激になっている」「生きがいになっている」という方もいる。

・研修等

ボランティアのレベルアップのため、年2回の研修会を行っている。内容はボランティア同士がアイデアを出し合って決めているが、読み聞かせの技法やわらべうた、腹話術など、多様な研修内容となっている。それぞれの班ごとに自主研修もっており、自分たちの読み聞かせの技術の向上を図っている。各班の班長と担当職員が集まる班長会議では、フェスティバルの企画や研修への要望、図書館への要望などを年3回話し合っている。

・図書館職員の関わり方

実際のおはなし会はボランティアが行っているが、毎月のおはなし会のスケジュール調整や、読書フェスティバルへの参加、研修会講師への依頼など、ボランティア・児童サービスボランティア担当職員・ボランティア事務局職員が、連絡調整を行いながら日々の活動を行っている。

(4) 成果と課題

児童サービスボランティアは、全員が同じくらい熱心に、協力し合い、活動をしているグループである。図書館がどういう場所で、図書館におけるおはなし会の意義を考えて活動してくれている。他分野のボランティアが「実に、浚刺としており、対応も気持ち良く、積極的で、協力的で、表現力があり、アドリブも効く、大変、できの良いグループである。全員、劇団出身者ではないかとさえ感じたほど、表現力が豊かである。自分が想像していたよりも、はるかに、理解力と対応力と表現力に富み、レベルの高さに驚いた。」と言っていた。こどもと本をつなぐことにこれからも協力いただきたい。

課題としては、全体的に高齢化が進んでいることがあげられる。継続する若い方がなかなか出てこない。ボランティアさんが、少しでも後輩のためにと考えていただいているのが救いである。

(5) 今後の方向性

日々の活動の中で、おはなし会後に本の紹介をするなど、少しでも貸出件数の増加や利用者増につなげていきたい。そして、少しでもこどもたち等が本を好きになってくれるおはなし会を続けていきたい。

●図書館名：日立市立南部図書館

●ボランティアとの共同イベント・行事

(1) 図書館概要

名称	日立市立南部図書館
連絡先	住所：〒319-1222 茨城県日立市久慈町3-24-1 電話：0294-29-1125 / FAX：0294-53-0706 E-MAIL：lib-nanbu@city.hitachi.lg.jp URL：https://www.city.hitachi.lg.jp/lib/
概要	設立年：平成25年 運営主体：日立市 資料総数：100,051冊（点）（平成31年3月31日） 入館者数：18万人（平成30年度実績） 累計登録者数：9,381人（平成31年3月31日） 職員数：19名（平成31年4月1日）

(2) 活動の実際

・ 工作

- ①親子工作 こいのぼりを作ろう 内容：こいのぼり，新聞での兜作り
- ②親子工作 七夕飾りを作ろう 内容：七夕飾りの作成
- ③親子工作 ひな飾りを作ろう 内容：ひな飾りの作成
- ④小枝で作るカブトムシ工作
内容：公園の間伐材を利用してカブトムシを作成 協力：赤羽緑地を守る会

・ イベント

- ①開館記念 春のライブラリーコンサート
内容：閉館後の館内で常磐大学吹奏楽団によるコンサートの開催
- ②図書館まつり 内容：手づくりおもちゃ，スピードくじ，バルーンアート，こども映画会など
- ③壤晴彦朗読会 朗読：壤晴彦氏 内容：朗読の実演
- ④ひたち生き生き百年塾と県北ジオパーク ストーンペイントほか
内容：ストーンペインティング，水晶探しなど
- ⑤図書館寄席（年3回開催） 内容：落語の実演 出演：二松亭ちゃん平氏ほか
- ⑥図書館探検 低学年・高学年向けに分けて2回実施
内容：図書館の利用案内，ミニ職場体験など
- ⑦映画「ある町の高い煙突」制作に向けて，映画「ある町の高い煙突」を制作して
講演：映画監督 松村克弥氏
- ⑧常陸みんなの会 昔かたり おはなし：常陸みんなの会 内容：昔話の語りを聞く会
- ⑨毛糸で作るクリスマスリース 講師：ひたち生き生き百年塾講師
内容：毛糸でのクリスマスリースの作成
- ⑩図書館でボードゲームを楽しもう！年2回開催
指導：日立ボードゲーム少年団 内容：ボードゲームの実演，指導

- ・ 講座
 - ①読み聞かせ講座 講師：原口なおみ氏（茨城キリスト教大学文学部教授）
内容：おはなし会の選書，読み聞かせなどの講座
 - ②図書館ボランティアを楽しもう！ 年2回
内容：サポーター活動の紹介，館内案内，ボランティア活動の実践など
 - ③朗読公開講座 講師：見澤淑恵氏 内容：朗読の実演，講義
 - ④プログラミング講座 講師：きららの会
内容：スクラッチを使ったブロックくずしのプログラミングの作成
 - ⑤小中学生向け俳句講座 内容：俳句の作り方を学び，自分で俳句を作る
 - ⑥DVDで学ぶ畑作業のコツと裏ワザ 講師：鈴木稔氏（農山漁村文化協会）
内容：DVDを見ながら畑作業や野菜の育て方を学ぶ
- ・ その他
 - ①館長を囲んで 座談会
内容：日立市南部地区の都市計画や街づくりなどについて参加者との座談会
- ・ 定期開催行事
 - ①ブックパーティー 開催日：毎月第2土曜と第4火曜日
内容：参加者が読んだ本を互いに紹介する
 - ②布絵本作り 開催日：毎月第1火曜日 内容：布製絵本やジグソーパズルの作成
 - ③図書館ガーデニング 開催日：3月下旬から11月上旬まで隔週土曜日
内容：図書館敷地内の除草や花の植栽，手入れなど
 - ④おはなし会 くじらちゃんおはなし会 開催日：毎月第4日曜日
かもめのおはなし会 年2回（夏休み，春休みの平日1日）
内容：絵本の読み聞かせや手遊びなどの実施
 - ⑤朗読勉強会 開催日：毎月第2木曜日 内容：朗読の実演
 - ⑥シネマパーティー 開催日：不定期
内容：図書館での映画上映会に向けての話し合い，映画を語る会
 - ⑦ブックスタート事業 毎週日曜日など年56回開催
内容：ボランティアさんと共同でのブックスタートパックの配付
- ・ ギャラリー活用の促進

南部図書館内のギャラリーは，おもに市内の団体向けに活用頂いている。その中の展示をサポートが所属している団体にも使用してもらい，有効活用を図っている。

例）ひたち巨樹の会（桜，イチヨウ，ケヤキなどの巨樹の写真展示）
- ・ 広報活動（図書館との共同）
 - ①図書館だよりの発行 年4回
 - ②サポーターズくらぶ通信の発行 毎月1回
- ・ 書架整理

サポーターの都合がよい時，いつでも随時，開館中に書架整理の実施

●図書館名：土浦市立図書館

●学生ボランティアの取り組みについて

(1) 図書館概要

名称	土浦市立図書館
連絡先	住所：〒300-0036 茨城県土浦市大和町 1-1 電話：029-823-4646 / FAX：029-822-3316 E-MAIL：library@city.tsuchiura.lg.jp URL：https://www.t-lib.jp/
概要	設立年：大正 13 年 運営主体：土浦市 資料総数：437,684 冊（点）（平成 31 年 3 月 31 日） 入館者数：64.3 万人（平成 30 年度実績） 累計登録者数：40,665 人（平成 31 年 3 月 31 日） 職員数：11 名（平成 31 年 4 月 1 日）

(2) ボランティア活動名 学生ボランティア

平成29年11月、土浦駅前に整備された複合施設“アルカス土浦”の核となる施設として、新しい土浦市立図書館が開館しました。

同時期に、図書館における第1次サービス計画も見直しの時期を迎え、第1次サービス計画における成果とその検証結果に対する課題、そして駅前立地という新たな役割を再整理し、これまでの「生涯学習や情報の拠点」としての役割に、駅前の活性化に寄与する「市民や地域の交流拠点」であることを加えた、第2次サービス計画を策定したところです。

第2次サービス計画におきましては、重点的に取り組むべきサービスの一つとして、ヤングアダルト世代のボランティア養成と活動の場の確保等を掲げております。土浦市内にはつくば国際大学やつくば国際短期大学の他、10校の県立・私立高校があるとともに、土浦駅を利用して大学や高校に通う学生も多いことから、学生ボランティアの養成や活動の場の提供及びヤングアダルト世代の読書推進に向けたサービスの充実を重点項目として取り組むこととしたものです。

(3) 活動の実際

平成30年度は、取り組みの第1段階として、つくば国際短期大学と連携し、春・夏・冬休み等の長期休暇時におけるおはなし会での読み聞かせやキッズコーナーの壁面装飾などの活動を試行的に実施しました。

今年度も、長期休暇時におけるおはなし会での読み聞かせについては、つくば国際短期大学と連携した事業として実施しておりますが、年度早々に大学生を対象とした学生ボランティアを募集し、現在、県内の大学に限らず、都内や常磐線沿線にある大学に通う学生を含め、9名の学生に登録いただいております。

学生ボランティアに協力いただいている活動内容については、図書館の自主事業における受付や運営の補助、キッズコーナーの壁面装飾、おはなし会におけるキーボード演奏やブックコート



作業など数々の協力を得ております。皆さん、忙しい学生生活の合間を縫って、大学等で習得されたことを活かしながら活動いただいております。壁面の装飾や小さなお子様への対応は、職員よりも手慣れた対応で、安心して任せられる状況でした。

また、今年度は試行の段階ではありますが、高校との連携事業の中から、高校生自身が図書館において、実施してみたい活動を把握することができました。現在、8名の高校生ボランティアに絵本の読み聞かせやパネルシアター等の指導を行い、年末には、幼児に向けた発表の場として、イベントの開催を予定しております。

(4) 今後の方向性

今後は、学生ボランティアを高校生や中学生まで拡大し、図書館に親しんでいただくことで、土浦市立図書館に愛着をもっていただけるよう、青少年層のボランティア活動や読書推進に向けたサービスに取り組んでいきたいと考えております。

新図書館が開館して2年。間もなく来館者数も120万人に達するという状況のなか、旧図書館と比較しても、利用者として大きく増加した大学生や高校生などの若い力と発想力を、ボランティアとして活かすことや、これからの図書館運営に絡めていければ、より充実した図書館サービスが展開出来るものと期待しております。



英語のおはなし会（歌の伴奏）

● 図書館名：笠間市立笠間図書館

● 音訳ボランティアの取り組み

(1) 図書館概要

名称	笠間市立笠間図書館
連絡先	住所：〒 309-1613 茨城県笠間市石井 2023 - 1 電話：0296-72-5046 / FAX：0296-72-5743 E-MAIL：kasamatosho@city.kasama.lg.jp URL：http://lib.city.kasama.ibaraki.jp/
概要	設立年：平成 16 年 運営主体：笠間市 資料総数：237,769 冊（点）（平成 31 年 3 月 31 日） 入館者数：19.9 万人（平成 30 年度実績） 累計登録者数：39,137 人（平成 31 年 3 月 31 日） 職員数：17 名（平成 31 年 4 月 1 日）

(2) ボランティア活動名 図書館資料の音訳

活動名	笠間図書館音訳ボランティア事業
活動概要	市の回覧板で市民に提供されている広報紙等を音訳し、利用者へ提供。

(3) 活動の実際

活動の趣旨	視覚に障がいのある方の目の代わりとなって、情報を声で伝える。
企画の設定方法	通常回覧板で提供されている定期刊行物 5 紙を音訳し利用希望者に提供。 【定期刊行物】 ①広報かさま ②広報かさまお知らせ版 ③笠間市議会だより ④笠間社協だより ⑤民児協ぬくもり 【作業場所・録音媒体】 笠間図書館音訳室 カセットテープ 【提供方法・利用者】 郵送 市内在住者 4 人
ボランティアの構成	現在、音訳ボランティアは、2 団体が活動。 ①「音和会」 構成員 14 人 活動 月 4 会（木曜日） ②「せせらぎ」 構成員 9 人 活動 年 5 会
図書館職員の関わり方	基本的な音訳作業はボランティアが行い、図書館職員は資料の提供、音訳室・機器の管理、利用者への提供（郵送）、及び読み方に疑義が生じた場合の発行者等の確認などを行っている。

(4) 成果と課題

現在の利用者は4名、需要が少ないが定期購読者がいる。課題としては、ボランティアが高齢化しており、人材の確保・育成が急務である。また、現在はカセットテープで行っているが新たな媒体への転換に伴い設備費が必要になる。

(5) 今後の方向性

ボランティアの研修会等を行いながら、人材を確保し、現在の活動を維持継続していく。



音訳ボランティアによる録音作業（笠間図書館音訳室）



音訳ボランティアによる録音作業（笠間図書館音訳室）

●図書館名：潮来市立図書館

●潮来市立図書館ボランティア友の会の取り組み

(1) 図書館概要

名称	潮来市立図書館
連絡先	住所：〒 311-2436 茨城県潮来市牛堀 289 電話：0299-80-3311 / FAX：0299-64-5880 E-MAIL：lib@itako.ed.jp URL：https://lib.itako.ed.jp/
概要	設立年：平成 17 年 運営主体：指定管理（シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社） 資料総数：202,062 冊（点）（平成 31 年 3 月 31 日） 入館者数：22 万人（平成 30 年度実績） 累計登録者数：20,942 人（平成 31 年 3 月 31 日） 職員数：21 名（平成 31 年 4 月 1 日）

(2) ボランティア団体概要

- ・団体名：潮来市立図書館ボランティア友の会
- ・活動目的

潮来市立図書館ボランティア友の会は、ボランティア活動を通じて、図書事業に協力することにより自身の向上を図るとともに、利用者に充実した図書館サービスを提供するかたわら、会員相互の親睦を図ることを目的とした団体です。

- ・活動内容



部門別委員会活動とし、資料整理委員会、環境美化委員会、おはなし委員のいずれかに所属・活動する。（重複登録可）

<おもな活動>

- 1 講演会・各種研修会・研修視察・おはなし会・朗読会・ブックリサイクル・図書館との共催事業・図書館イベントのサポート・会員募集・広報作成
- 2 資料配架、整理、装備 3 環境美化（館内外の環境整備）
- 4 その他、図書館サービスで可能なボランティア活動

(3) 活動の実際

おはなし会事業	・毎月2回、ボランティアによるおはなし会を実施。 ・子育て支援の一環として、図書館で開催する子育て広場での読み聞かせを実施。季節に合わせ、おはなし会の特別版を開催。
ブックスタート事業	・ブックスタート内で実施する読み聞かせを実施。
出張読み聞かせ	・図書館以外の施設での読み聞かせについて、図書館が受けた依頼に応じて実施。
大人のための朗読会	・年2回、一般を対象に文学作品の朗読会を実施。

D T M講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの自主企画として実施。パソコンを使った音楽作りを体験するイベント。ボランティアの年間事業計画によって年1～2回開催。講師はボランティア。 
ハーバリウム作り	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーバリウムに関する基本的な解説を交えながら、100ccボトル2本のハーバリウムを作る。企画運営はボランティアが行い、講師依頼等の調整を行う。 
ヤングパパママおはなし、おくすり講座	<ul style="list-style-type: none"> ・親子における絵本を中心とした読み聞かせの大切さ、読み聞かせと子どもの成長への係り、絵本の選び方、探し方等を解説。 ・薬剤師会と連携し、一般的なお薬の正しい使い方を解説。
親子花植え体験	<ul style="list-style-type: none"> ・プランターなどに花を植えて図書館の環境美化に取り組むほか、親子と一緒に花植えに親しむ機会の提供を目的とした。
折り紙工作 おひなさまをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・おひなさまシーズンに向けて親子一緒に楽しめる折り紙工作を実施。製作した作品は各自お持ち帰り自宅で飾れるよう工夫。

・企画の設定方法：ボランティアと図書館で協議し、企画アイデアを募り、年間事業計画に盛り込む。

・ボランティアの構成：ボランティア自身が講師にならない場合は、講師派遣依頼を含めボランティア側で運営する。ただし、企画のチラシ、ポスター、広報等の製作と活動、消耗品等の準備は図書館が行い、講師への謝金および交通費等の支払いを行う。

(4) 成果と課題

図書館事業やサービスのお手伝い、補助としての活動だけでなく、ボランティア本来の目的でもある自主性を主体とした事業展開が図れていると考えている。

(5) 今後の方向性

今後も継続して、より多くの市民の方々との共同を推進していける中核の存在としてボランティアの活動が展開できるよう支援していきたい。

●図書館名：神栖市立中央図書館

●小さな子どもたちや子育て世代へのサポート～赤ちゃんタイムボランティアの取り組み～

(1) 図書館概要

名称	神栖市立中央図書館
連絡先	住所：〒314-0144 茨城県神栖市大野原 4-8-1 電話：0299-92-3746 / FAX：0299-93-0946 E-MAIL：c-tosho@city.kamisu.ibaraki.jp URL：https://www.kamisu-tosho.jp/
概要	設立年：平成2年 運営主体：神栖市 資料総数：422,600冊（点）（平成31年3月31日） 入館者数：13万人（平成30年度実績） 累計登録者数：37,486人（平成31年3月31日） 職員数：38名（平成31年4月1日）

(2) ボランティア活動名 赤ちゃんタイムボランティア

・活動の概要 毎週木曜日10時～12時の赤ちゃんタイムの支援。赤ちゃんの様子の見守り、絵本の読み聞かせなどをおこなう。

(3) 活動の実際

・活動の趣旨 神栖市は「地域全体で子育てを応援するまちづくり」を進めており、市立図書館においては積極的に小さな子どもたちや子育て世代へのサポートに努め、子連れの方にも気兼ねなく図書館へ来てもらえるよう、毎週木曜日10～12時を赤ちゃんタイムとしている。その支援として、赤ちゃんタイムでの赤ちゃんの様子の見守り、絵本の読み聞かせなどのボランティアをお願いしている。

・企画の設定方法 赤ちゃんタイムの支援として、親御さんが本を選んでいる間の子どもの面倒をみる、子どもと一緒に絵本を選ぶ、おはなし会での絵本の読み聞かせをするなど。

・ボランティアの構成 4人

・図書館職員の関わり方 図書館の利用についての質問、読書相談やレファレンスなどはボランティアの方では対応しきれないため、赤ちゃんタイム中はなるべく職員もその場にいるようにし、対応する。また、情報交換や今後の活動についての要望や意見などを持ち寄るボランティア連絡会を開いている。



(4) 成果と課題

子育てを経験したボランティアの方が多く、赤ちゃん連れの親御さんの気持ちがほぐれるような言葉掛けをしたり、簡単な相談に応じたりしている。また、初めて来館する方にも声をかけ、他のお母さん達と一緒に会話を楽しみ、利用者同士のつながりを作るきっかけづくりにもなっている。

課題としては、ボランティア人員の充実が挙げられる。

(5) 今後の方向性

引き続き、小さな子どもたちや子育て世代へのサポートに努め、職員とも連携し、赤ちゃんからの読書活動推進につながるよう支援していく。

●図書館名：筑波大学附属図書館

●筑波大学附属図書館ボランティアの取り組み

(1) 図書館概要

名称	筑波大学附属図書館
連絡先	住所：〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 電話：029-853-2347 / FAX：029-853-6052 E-MAIL：voice@tulips.tsukuba.ac.jp URL：https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/
概要	設立年：昭和48年 運営主体：国立大学法人筑波大学 資料総数：約270万冊（点）（平成31年3月31日） 入館者数：約103万人（平成30年度実績） 職員数：75名（平成31年4月1日）※以上の数値はいずれも5館の合計である

(2) 筑波大学附属図書館ボランティア

平成7年度から活動を開始し、主に図書館総合案内、図書の修理、環境整備、美術館等の展覧会ポスター整理・データベースへの登録（体育・芸術図書館のみ）を行っている。この他、対面朗読や障害学生の介助を行っている。留学生向けのおりがみ講習会等のイベントも開催している。

(3) 活動の実際

当館は生涯学習の場の提供を趣旨とし、ボランティアには利用者の援助を目的として、その知識・技能を無償で提供していただいている。令和元年度は42名が登録しており、男性8名、女性34名、平均年齢66歳となっている。活動内容等は、教員と図書館職員で構成するボランティア専門委員会で協議し、決定している。

当館ボランティアの特色ある活動の一つとしては、外国人等を含む多様な来館者への見学案内があり、4～6月の全新入生へのオリエンテーションや年2回の留学生オリエンテーション、また、キャンパスツアー等で来学した中高校生へも同様に実施している。海外の協定大学の教職員・学生や研究者にも、語学に堪能なボランティアが日本語だけでなく、英語、中国語、インドネシア語、ロシア語等で案内を行っている。その他の活動としては、図書館主催の懇談会や研修の実施、日常的にボランティアのスキルアップを図っている。

(4) 成果と課題

年間100件近くの見学案内や障害学生への対応などを行い、利用者から好評をいただいている。ボランティア登録者の高齢化と活動へのモチベーションの維持が課題となっている。

(5) 今後の方向性

今後も生涯学習の場の提供と従来の活動を維持するとともに、達成感が感じられるような活動を進めていく予定である。



海外からの来館者に対する
英語による見学案内



キャンパスツアーで来館した
中学生の見学案内

●図書館名：茨城県立点字図書館

●当館資料作成に係るボランティア育成および協力関係構築の取り組み

(1) 図書館概要

名称	茨城県立点字図書館
連絡先	住所：〒310-0055 茨城県水戸市袴塚1-4-64 電話：029-221-0098 / FAX：029-221-0234 E-MAIL：ibacenter@work.nifty.jp URL：http://ibacenter.la.coocan.jp/
概要	設立年：昭和48年 運営主体：社会福祉法人 茨城県視覚障害者協会 蔵書数：点字資料：9,402タイトル（33,688冊） 録音資料（カセットテープ）：5,758タイトル（26,076巻） 録音資料（DAISY形式CD）：4,986タイトル（4,993枚） （平成31年3月31日現在） 利用者数：1,033名（令和元年12月1日現在） 職員数：8名（令和元年12月1日現在）

(2) ボランティア活動名

- ・点字図書・録音図書の作成活動

(3) 活動の実際

- ・活動の趣旨

当館の主たる利用者である視覚障害者に対する情報提供として、①既存の出版物から当館で選定したものを著作権法の範囲において点字または音声により作成（複製）し当館所蔵資料とする、②主に利用者自身からの依頼に基づき、本人の所持する視覚文字情報資料を点字または音声により作成（複製）する。

- ・企画の設定方法

上記①については、当館関係職員により構成される選書委員会において作成する出版物を選定し、それをボランティアに依頼する。またはボランティア本人から推薦のあった出版物（原則としてボランティア本人が所有するもの）について、当館関係職員により諸条件を鑑みた上で当館蔵書に相応しいと判断されたものについて推薦者本人に依頼する。これらは当館にて策定した選書基準の定めに基づき行われる。

②については、利用者個人から送付された資料について当館で適切なボランティアを選定し作成を依頼する。

- ・ボランティアの構成

原則として茨城県内在住の、当館の実施する奉仕員養成講座を修了した者である。実際には養成の段階から各地の当館所属ボランティアグループにより、当館監修のもとに育成および作成作業（原本照合校正まで）が行われる。

ボランティア数は点字が80名、録音が224名である（いずれも平成31年3月31日現在）。

・図書館職員の関わり方

資料の複製，およびそれに携わるボランティアの養成とも茨城県指定管理事業である茨城県立点字図書館の業務メニューであり，該当業務には図書館職員が就くことになる。

点字については養成と作成にそれぞれ1名ずつ，録音は養成と作成を兼ねる形で1名が関わる。作成担当については，各ボランティアから寄せられる作成に関する質問等への回答や，それらを踏まえたフォローアップ研修等の立案・実施も含まれる。

なお点字・録音とも作成物についてはデータやその記録媒体を介してのやり取りが可能であることから，各ボランティアと担当者が直接対面することは少ない。

(4) 成果と課題

点字・録音とも蔵書として毎年度100タイトル以上(8.3タイトル/月)の作成・所蔵を実施している。現状では人の手による作成が事実上必須であることを考えればボランティアベースでの実施としては十分と考える。

一方で，利用者個人からの依頼については逐次対応してはいるが，こちらは依頼されるジャンルが多岐にわたること，作成を求められる資料の大部分が作成難度の高いものであることから対応可能なボランティアが限定される傾向にあるため，ボランティア全体のスキル向上策を講ずる必要があると考える。

(5) 今後の方向性

点字・録音資料については，現在は視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」により作成物(データ)の全国規模での共有が進んでおり，通俗的な内容の出版物であれば各館で直接作成しなくても提供が可能である場合が多い。それを踏まえれば，当館としては自館蔵書の全体像を踏まえた上で，利用の見込める資料と「当館の特色」を打ち出しうる資料)をバランスよく作成し，またそこから零れたもののうち利用者が強く求める資料についての個人的対応も強化する必要があると思われる。

これらを実現するにあたっては，やはりボランティアの人数・質の両面における拡充が必要であり，その育成についてより範囲の広がり得る方法を常に模索することが必要と考える。

4. 資 料

図書館におけるボランティアの実態に関する調査報告 調査票

茨城県図書館協会調査研究委員会

担当理事 八千代町立図書館長

渡辺 孝志

日立市立南部図書館長

田所 保行

委員長

茨城県立図書館館内サービス課長

寺田 雄一

〈記述前にお読みください。〉

- ・ 回答基準日は、設問中に断りない限り 2019 年 4 月 1 日とします。
- ・ 頂いた回答について問い合わせることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 色つきのセルについては、次の通りです。
- ・ ・ ・ 一覧から数値を選択 ・ ・ ・ ○印の選択 ・ ・ ・ 記述

■ はじめに、貴施設と回答いただく方について下記の内容を入力ください。

施設名	
回答者部署名	
回答者職名	
回答者氏名	
連絡先 (TEL)	
連絡先 (FAX)	

■ 貴施設について伺います。

調査項目	番号	問	選択肢	回答欄
基本事項	1	施設の種類において該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。	1 公共図書館	
			2 公民館図書室	
			3 大学図書館	
			4 その他	
	2	管理運営状況として、該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。	1 直営	
			2 指定管理	

■ ボランティアの活動状況について伺います。

ボランティア活動有無	3	貴図書館では、ボランティア活動が行われていますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。	1 ボランティアの活動が行われている。 →問 4 へお進みください。	
			2 ボランティアの活動は行われていない。 →問 2 7 へお進みください。	

■ ボランティア活動が行われている図書館に伺います。			
登録制度の有無及び登録団体数、個人登録者数等	4	貴図書館では、ボランティア登録制度がありますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。	1 個人登録制度がある。 →問5へ
			2 団体登録制度がある。 →問6へ
			3 個人と団体の両方の登録制度がある。 →問5・6へ
			4 登録制度がない。 →問8へ
	5	貴図書館の4/1付けボランティア登録人数は何名ですか。回答欄に数字を記入してください。	
	6	登録団体数は、いくつありますか。回答欄に数字を記入してください。	
	7	ボランティアの任期は、どのくらいですか。あてはまる選択肢の回答欄に○記入してください。	1 1年
2 2年			
3 3年			
4 任期なし			
5 その他			
具体的に			
目的について	8	図書館がボランティアに活動してもらっている目的は何ですか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 自己実現・生きがいにつながる学習の場を提供するため
			2 地域の司書有資格者の活用になるため
			3 人的補完のため
			4 図書館活動に関する専門的な知識や技能を習得し広く活用してもらうため
			5 地域の人々の交流を促すため
			6 利用者にとって充実したサービスを提供するため
			7 ボランティアの意見を取り入れることで図書館運営を活性化させるため
			8 地域の人々から要望があったため
			9 地域の施設としてより利用者の立場に立った運営を目指すため
			10 地域の人々に図書館をよく知ってもらうため
			11 地域に支えられているという雰囲気醸成するため
			12 地域との連携を推進するため
			13 近隣の図書館でボランティア活動が行われていたため
			14 その他
			具体的に
募集方法・広報について	9	貴図書館では、ボランティアの募集についてどのようなタイミングで実施していますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 年に1回、定期的実施している。
			2 年に2回以上、定期的実施している。
			3 欠員が生じたときに、実施している。
			4 特に募集はしていないが、本人からの申し出や他のボランティアからの推薦があったときに検討している。
			5 その他
	具体的に		
	10	貴図書館では、ボランティアの募集に関する広報をどのように実施していますか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 図書館ホームページで募集している。
			2 図書館の広報誌で募集している。
			3 図書館内にポスター・チラシを掲示して募集している。
			4 新聞やTVで募集している。
			5 地方公共団体の広報誌に情報提供して募集している。
6 民間のメディアに情報提供して募集している。			
7 イベント開催時に募集をしている。			
8 その他			
具体的に			
11	貴図書館では、ボランティアの活動内容を各メディアに対して情報提供していますか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 図書館ホームページで情報提供している。	
		2 図書館の広報誌で情報提供している。	
		3 図書館内にポスター・チラシを掲示している。	
		4 新聞やTVで情報提供している。	
		5 地方公共団体の広報誌に情報提供している。	
		6 民間のメディアに情報提供している。	
		7 イベントを開催して情報提供している。	
		8 その他	
具体的に			

構成員について	12	貴図書館でボランティア登録（活動）している方を次のように分類するとどこにあてはまりますか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 高校生				
			2 大学生				
			3 勤労者				
			4 定年退職者				
			5 無職（定年退職者以外）				
			6 把握していない・不明				
			7 その他				
			具体的に				
			活動頻度及び内容	13	貴図書館でボランティア登録（活動）をしている方の年代別人数を回答欄に記入してください。	1 10代	
						2 20代	
3 30代							
4 40代							
5 50代							
6 60代							
7 70代							
8 80代以上							
9 不明							
活動頻度及び内容	14	貴図書館のボランティアの活動は、どのような頻度で行われていますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。				1 毎日活動している。	
			2 毎週1日、曜日を決めて活動している。				
			3 曜日は決めていないが、毎週1日活動している。				
			4 毎週2日以上、曜日を決めて活動している。				
			5 曜日は決めていないが、毎週2日以上活動している。				
			6 不定期に活動している。				
			7 その他				
			具体的に				

活動頻度 及び内容	15	<p>(1) 貴図書館で、今年度行われた・行われている・行われる予定のボランティア活動は、どのような内容ですか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。</p>	読書活動の推進支援について	
			1 読書活動推進のためのイベントに関すること（図書館まつり、講演会等）	
			2 読書活動推進のための広報、情報提供（チラシ、ポスター、情報誌作成等）	
			3 図書館へ来館困難な方への支援（宅配）	
			4 情報サービス（図書や資料の検索等）	
			5 配架や館内整理に関すること（棚の整理、館内外の美化等）	
			6 本や資料の修繕・保存に関すること	
			7 その他	
			具体的に	
			文化・芸術の振興支援について	
			8 文化・芸術に関する事業及び広報	
			9 博物館（美術館含む）等と連携した事業	
			10 地域の伝統文化の映像資料やデジタル資料の収集、保存、提供	
			11 古文書、古地図、写真等の貴重資料の保存	
			12 博物館（美術館含む）等での読み聞かせや図書紹介等	
			13 その他	
			具体的に	
			子育て支援について	
			14 子育てに関する図書コーナーの配置や整備	
			15 乳幼児・児童・親子を対象とした講座での読み聞かせ等	
			16 乳幼児・児童・親子を対象とした講座のチラシや広報誌の作成	
			17 育児相談やブックスタートの場での絵本紹介や読み聞かせ	
			18 その他	
			具体的に	
			学校教育支援について	
			19 学校への団体貸出・巡回文庫等	
			20 学校での読み聞かせ、ブックトーク等	
			21 授業における講師としての活動等	
			22 学校図書館への整備支援	
			23 授業や行事等における資料・情報提供	
			24 その他	
			具体的に	
地域作り・まちづくりへの貢献について				
25 郷土資料を活用した学習に関すること（郷土資料コーナー設置、郷土史講座等）				
26 健康作りや環境問題等に関わる活動（健康作り講座、環境関連図書展示等）				
27 中高年、高齢者の社会参加支援（セカンドライフ講座、地域活動を進める上で参考となる図書展示等）				
28 障がい者サービスに関わること（録音図書、点字図書の製作等）				
29 在住外国人への図書・資料・情報提供				
30 生や留学生への学習支援				
31 その他				
具体的に				

活動頻度 及び内容	15	(2) 問 15—(1) で○を記入したボランティア活動は、どのように企画されたものですか。該当する選択肢の回答欄に、それぞれの選択肢番号を記入してください。	1 職員が活動内容を企画している。	
			2 主として職員が活動内容を企画しているが、ボランティアが企画に加わることもある。	
			3 職員とボランティアが、共同で活動内容を企画している。	
			4 主としてボランティアが活動内容を企画するが、職員が企画に加わることもある	
			5 ボランティアが活動内容を企画している。	
			6 活動の内容によって、企画の主体者が変わる。	
15	(3) 問 15—(1) で○を記入したボランティア活動のうち、貴図書館の最も特徴的な活動について、活動名、活動内容、選択肢番号をご記入ください。	【活動名】		
		【内容】		
研修につ いて	16	貴図書館では、平成 30 年度にボランティアに対して貴図書館が主催する研修を何回実施しましたか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。	1 1 回実施した。	
			2 2 回実施した。	
			3 3 回以上実施した。	
			4 実施しなかった。	
	17	ボランティアに対する研修会を実施している図書館に伺います。研修会はどのような時期に実施しましたか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 ボランティアを受け入れた時期	
			2 年間計画で決められた時期	
			3 ボランティアから希望が出た時期	
			4 その他	
			具体的に	
	18	ボランティアに対する研修会を実施している図書館に伺います。研修会の内容はどのようなものでしたか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 ボランティア活動についての考え方に関するもの	
			2 自館の運営状況・活動状況に関するもの	
			3 ボランティア活動の知識に関するもの	
4 ボランティア活動の技術に関するもの				
5 ボランティア活動の安全に関するもの				
6 職員やボランティア同士の情報交換・交流を目的としたもの				
7 その他				
		具体的に		
19	ボランティア自身が、円滑な活動をするために、自主的に行っている活動には、どのようなものがありますか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 ボランティア活動への理解を深めたり、スキルアップを図ったりするための研修。		
		2 図書館職員との共通理解を図るための情報交換会		
		3 ボランティア同士の情報交換、親睦会		
		4 その他		
		具体的に		

経済的支援について	20	貴図書館では、ボランティア活動に対して経済的な支援をしていますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。	1 経済的な支援をしている。	
			2 経済的支援をしていない。	
	21	ボランティアに対して経済的な支援をしている図書館に伺います。どのような内容に経済的な支援をしていますか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。	1 報償費（謝金）	
			2 食事代	
			3 交通費	
			4 消耗品代（材料代，用具購入費，印刷代）	
5 その他				
具体的に				
22	貴図書館で活動するボランティアは、保険に加入していますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 自治体や図書館が全額負担して、保険に加入している。		
		2 自治体や図書館が一部を負担して、保険に加入している。		
		3 ボランティアが全額負担して、保険に加入している。		
		4 保険の加入について把握していない。		
		5 その他		
具体的に				
コーディネーターについて	23	貴図書館において、ボランティアコーディネーターの配置をしていますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。	1 配置している。	
			2 配置していない。	
	24	ボランティアコーディネーターを配置している図書館に伺います。ボランティアコーディネーターの属性で該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 学校教員	
			2 元学校教員	
			3 社会教育主事・社会教育指導員	
			4 元社会教育主事・元社会教育指導員	
5 図書館職員				
6 その他				
具体的に				

課題について	25	<p>貴図書館のボランティア活動において、既に解決した課題はどんなことですか。該当するものの中で、最も特徴的な事柄の回答欄に○を記入してください。また、その解決策について記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。</p>	1 ボランティアが不足している。	
			2 ボランティアコーディネーターがない。	
			3 ボランティアが高齢化している。	
			4 ボランティアを担当する職員が多忙化している。	
			5 ボランティアに対する職員の理解が足りない。	
			6 ボランティアに対する地域住民の理解が足りない。	
			7 ボランティア同士の間関係がうまくいっていない。	
			8 ボランティアに対する館内状況についての情報提供が十分でない。	
			9 ボランティアのマッチング機能が十分でない。	
			10 予算が不足している。	
			11 活動がマンネリ化している。	
			12 保険が不十分である。	
			13 特になし	
			14 その他	
	具体的に			
	26	<p>貴図書館のボランティア活動の現在の課題はどんなことですか。該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。</p>	1 ボランティアが不足している。	
			2 ボランティアコーディネーターがない。	
			3 ボランティアが高齢化している。	
			4 ボランティアを担当する職員が多忙化している。	
			5 ボランティアに対する職員の理解が足りない。	
			6 ボランティアに対する地域住民の理解が足りない。	
			7 ボランティア同士の間関係がうまくいっていない。	
			8 ボランティアに対する館内状況についての情報提供が十分でない。	
			9 ボランティアのマッチング機能が十分でない。	
			10 予算が不足している。	
			11 活動がマンネリ化している。	
12 保険が不十分である。				
13 特になし				
14 その他				
具体的に				

■ ボランティア活動が行われていない図書館に伺います。				
活動の 新規導 入につ いて	27	ボランティア活動が行われていない理由として、該当する全ての回答欄に○を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 施設運営は、職員が行う方針だから。	
			2 ボランティアを受け入れる体制が整っていないから。	
			3 ボランティア活動に対して、準備や支援の方法がわからないから。	
			4 ボランティア活動の場がないから。	
			5 ボランティアの募集をしたが、希望者がいなかったから。	
			6 予算が不足しているから。	
			7 その他	
	具体的に			
	28	ボランティア活動が行われていない図書館に伺います。今後、ボランティアが活動を行う予定はありますか。該当するものを選択肢から選び、回答欄に番号を記入してください。なお、「その他」については、具体的に記入してください。	1 ボランティア登録制度をつくる予定である。	
			2 ボランティア活動の機会を提供する予定がある。	
			3 特になし	
			4 その他	
			具体的に	

関連資料

- 平成22年度奉仕活動・体験活動の推進・定着のための研究開発
「図書館におけるボランティアの実態に関する調査報告書」
文部科学省 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター

茨城県図書館協会調査研究委員会設置要項

(目的)

第1条 茨城県図書館協会規約（以下「規約」という。）第4条第2号の目的を達成するため、規約第6条第3項第3号の規定に基づき、調査研究委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(事業内容)

第2条 委員会は、次の事業を行う。

- (1) 図書館運営の諸問題についての調査研究に関すること。
- (2) その他、会長が必要と認めた事案についての調査研究に関すること。

(委員)

第3条 委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 会員館の館長が推薦する者 4名程度
 - (2) その他必要に応じて会長が認める者 2名程度
- 2 委員は、会長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、委員会を総括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は、委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員長は、会議の議長となる。
- 3 委員長は、必要があると認めるときは、協会役員及び委員以外の者の出席を求め意見を聴取することができる。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は会長が別に定める。ただし、再任を妨げない。

- 2 委員が任期途中で異動した場合は、当該施設における後任者が残任期間の任務を行う。ただし、委員の異動先が協会加盟館であって、委員本人と異動先の施設を代表する者が了承した場合はその委員が、その委員を推薦した部会が当該委員後任者以外の者を推薦する場合はその者が、残任期間の任務を行うことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、協会事務局において処理する。

(委任)

第8条 この要項に定めのない事項は、委員会において別に定める。

付 則

この要項は、平成18年5月19日から施行する。

付 則

この要項は、平成20年5月23日から施行する。

アンケート調査協力館一覧

No.	館名
1	茨城県立図書館
2	水戸市立中央図書館
3	水戸市立東部図書館
4	水戸市立西部図書館
5	水戸市立見和図書館
6	水戸市立常澄図書館
7	水戸市立内原図書館
8	日立市立記念図書館
9	日立市立多賀図書館
10	日立市立十王図書館
11	日立市立南部図書館
12	土浦市立図書館
13	古河市三和図書館
14	古河市古河図書館
15	石岡市立中央図書館
16	ゆうき図書館
17	龍ヶ崎市立中央図書館
18	下妻市立図書館
19	常総市立図書館
20	常陸太田市立図書館
21	高萩市立図書館
22	北茨城市立図書館
23	笠間市立笠間図書館
24	笠間市立友部図書館
25	笠間市立岩間図書館
26	取手市立取手図書館
27	取手市立ふじしろ図書館
28	牛久市立中央図書館
29	つくば市立中央図書館
30	ひたちなか市立中央図書館
31	ひたちなか市立那珂湊図書館
32	ひたちなか市立佐野図書館
33	鹿嶋市立中央図書館
34	潮来市立図書館
35	守谷中央図書館
36	常陸大宮市立図書館情報館
37	那珂市立図書館
38	筑西市立中央野図書館
39	筑西市立明野図書館

40	坂東市立岩井図書館
41	坂東市立猿島図書館
42	稲敷市立図書館
43	かすみがうら市立図書館
44	神栖市立中央図書館
45	神栖市立うずも図書館
46	行方市立図書館
47	銚田市立図書館
48	つくばみらい市立図書館
49	小美玉市小川図書館
50	小美玉市玉里図書館
51	茨城町立図書館
52	城里町立桂図書館
53	東海村立図書館
54	阿見町立図書館
55	八千代町立図書館
56	利根町図書館
57	大洗町中央公民館
58	コミュニティセンター城里
59	大子町立中央公民館別館 図書館プチ・ソフィア
60	美浦村中央公民館
61	常総市地域交流センター
62	真壁伝承館
63	五霞町中央公民館
64	境町中央公民館
65	茨城大学図書館
66	茨城女子短期大学図書館
67	茨城キリスト教大学図書館
68	常磐大学情報メディアセンター
69	筑波大学附属図書館
70	茨城工業高等専門学校学術総合情報センター
71	筑波学院大学附属図書館
72	茨城県立医療大学附属図書館
73	つくば国際大学図書館
74	筑波技術大学附属図書館
75	流通経済大学図書館
76	常陽史料館史料ライブラリー
77	茨城県立点字図書館

・ 県立図書館（1館） ・ 市町村立図書館（55館） ・ 市町村立公民館（8館）
 ・ 大学図書館（11館） ・ その他の機関（2館） 計77館（平成31年4月1日現在）